新京日日新聞

夕刊　十月五日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三一〇〇）
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越內之介

協和精神全し！

劃期的成功を收め　協和會全聯閉幕

民意暢達、宣德達情の實發揮

全聯最終日十日目は五日午前十時より開催張會長、橋本中央本部長始め協和會中央、首都全職員、政府當局者各代表事務長全員は禮裝の紐をつけ威儀を正して着席、先づ全聯に提出された中央本部諮問事項十二件につき馮議長より答申内容を報告、終つて閉會式に入り皆川總務部長開式の辭を述べ、張會長より各省代表に全聯參加證を授與、橋本中央本部長より劃期的成果を收めた本年度全聯の所感と代表始め各關係方面に對する感謝の挨拶を爲し、終つて皆川總務部長閉會の辭を述べ、張會長の發聲で滿洲帝國萬歲、協和會萬歲を三唱、全員これに唱和し協和會の大講堂をゆるがし一同國旗に敬禮、午前十時半輝かしい成果を收めて康德五年度全國聯合協議會はこゝに幕を閉ぢた、豫想以上の成果を收めた本年度全聯は遂に會期を三日間延長し、上程審議案五十件の內中央本部一任四十四件、解決六件、文書回答議案六十九件の內解決十八件、中央本部一任五十一件、更に緊急動議六件の內解決四件、中央本部一任二件といふ協和會始つて以來の劃期的成果を收めたが、終始官民一體となつてじつくり協議、民意暢達、宣德達情の實を遺憾なく發揮した、尙全代表、各省事務長、政府關係者は十二時より中央飯店に於ける中央本部の招宴に臨んだ（寫眞上正副議長の挨拶右より花岡、王兩副議長、馮議長、曲書記長、下 閉會式）

本年度全聯の成果

十日間に亙る本年度全國聯合協議會も五日をもつて終了したが、議案審議の結果に現はれた今年度全聯の成果は

△上程審議案五十件中解決は

一、商租區域內における滿人買戾地價格に關する件（牡丹江）
二、ラマ改善に關する件（錦州）
三、鐵路國道並に警備道路兩側における高幹植物栽培に關する件（奉天、安東、錦州）
四、社會事業を協和會所管たらしめられ度き件（熱河）
五、地券交換契稅手續に關する件（錦州）
六、紅色郵便物解禁に關する件（興北）

以上六件で他の四十四件は全部中央本部一任に可決したが重要議案に對し充分なる審議檢討を行ふため分科委員會において附議されたものは二十件の多きに達した

△文書回答議案六十九件中特別審議案として本會議に上程した議案は

一、特別區を廢止し土地縣治返還に關する件（龍江）
二、早婚禁止即時施行に關する件（龍江）
三、青年禁酒禁煙に關する件（安東）
四、火災保險料低減に關する件（安東）
五、大東公司從業員に關する件（龍江）
六、營業稅法改正に關する件（安東）
七、轉口稅廢止に關する件（安東）

以上七件であるが、文書回答全案を通じて解決は十八件、中央本部一任五十一件であるなほこの外緊急動議として提案されたものは

一、出征日本軍に對する感謝慰問に關する件（通化）
二、軍警に對する感謝慰問に關する件（三江）
三、排共宣言に關する件（熱河）
四、訪歐使節團激勵に關する件（首都）
五、納稅義務履行に關する件（奉天）
六、協議會發展上の要求擴充要望に關する件（奉天）

以上六件でうち解決四件、中央本部一任二件である、全議案を通じて見るとき、解決廿八件、中央本部一任九十七件といふ例年に見ざる異常の好績を示し今年度全聯の成果を物語るものである

橋本中央本部長挨拶

本年度全國聯合協議會を閉ぢるに當り所感の一端を述べて御挨拶に代へる、各代表は勿論關係各機關の方々は終始一貫、熱心に協議を進められまして幸に、協議會所期の目的を達成し得ましたことは誠に御同慶に存ずる次第であります、特に本年度は開會劈頭全代表に賜謁の榮を與へられるのみならず優渥なる御沙汰書を賜りまして、重ねての御聖恩に對し感佩に堪へぬ次第であります、我々協和會員は此の光榮と感激とを源として益々會運動の發展に努め聯合協議會の充實向上に力を致さなければならぬと思ひます、次に若干の點を皆樣の御參考迄に申述べます、第一は聯合協議會の本質が分會運動と不可分なることを深刻に考へて來たことであります、これは（會）二日目に總務部長も述べたことであるが平素の分會に於ける實踐を母體とし宣德達情の氣意を發揮することでありまして、各代表の御自覺に依つてこの特質を伺ひ得ました

□

第二は議事の進行問題でありますが、本年度は開會前各省より代表一名宛の御參集を煩はして豫備會議を開き、重要問題には分科會を開きその効果が豫想外に大きかつたのみならず、一面時間的にも議事の進行に多大の貢獻があつたと思ふのであります、本部側でも會の機構に不備のあつたことは充分認めてゐます、第三は議案は內容に於て非常に充實して來た、提案側でも充分具體的な問題をとらへ從來にない成果を收めて來たことである、第四は代表各位が非常に熱心であつたことであります、朝は定刻から夜遲くまで勉强せられたことは如何に國民がこの問題に眞摯であるかの證左でもありまして慶賀に堪へません、第五は協議の內容が官民一途克く進められたことであります、民族、職をはなれ協力して下さいました、又民生經濟にありましては各說明委員共官吏の立場と會員としての立場から義務を果され、特に農村問題等で消費節約問題が動議せられたことは道義精神の發露であり、御歸鄕の上充分この意義を一般民衆に徹底さして頂き度い、關係機關に於ても克く協力下され感謝に堪へない次第であります、全會員を代表して、今後共一層御協力下されんことをお願ひする次第であります、議長、副議長、書記長の御奮鬪にも併せて感謝の意を表します

□

又協議會期間中新聞通信各位は適切なる論說、記事に於て內容を報道し一般民衆の關心を昂められたことは感激に堪へませぬ、最後に申上げますることは議案の殆んど全部が中央本部一任となつてゐることであります、中央本部ではこの會員の全體意思を酌みとり今後宣德達情の實を充分あげる樣努めるつもりでありますが、以上をもつて私の所感を終ります、代表各位にお禮申上げます

新店前面の要害地

「ハ」高地を完全占領

【商城四日發國通】村上、續木兩部隊を先鋒にわが軍は四日午後三時半から新店前面の敵陣人形山東北の「ハ」高地に向つて最後の突擊を敢行し戰鬪實に一時間二十分遂に同山を占領、山上高く大日章旗を飜へした、同山は人形山と共に新店前面の敵主陣地で全山鐵筋コンクリート製のトーチカ掩蓋壕に蔽はれた堅陣であり、わが〇〇部隊は三晝夜に亘つて力戰、一角又一角と敵を壓し遂に全山を制壓したもので壯絶なる三晝夜の肉彈山嶽戰に敵壕內外は數百に上る敵遺棄死體散亂し凄慘を極めてゐる

【商城四日發國通】「ハ」高地を完全に占領した〇〇部隊は直ちに〇〇部隊に協力東北側より新店前面最後の敵陣人形山に向つて猛擊を開始した

若溪を占領

【若溪北方高地五日發國通】我軍は五日午前二時過ぎ遂に若溪を占領、淺口、德安間の陸路連絡線を切斷した

【星子五日發國通】柴田、福井各部隊は鉢卷山を占領するや間髮を入れず敗敵に迫つてその前面の高地通稱小富士を一擧に蹂躪餘勢を驅つて續く無名高地も輕く一蹴、遮二無二西北にこれを追擊、黃龍山東北山麓敵右翼據點一文字山を四日午後三時廿五分占領凱歌を奏した、なほ右急追戰においてわが方の神速果敢なる小富士山奪取を感知せず同高地に赴かんとする敵約一個中隊と同山を追はれた敵大部隊とが陵線の細い曲角で激突收拾すべからざる混亂狀態に陷つた、わが急襲部隊はこれを目擊するやすかさず痛快極まる小銃、機關銃の鈎瓶打を浴せまたゝく間に敵を潰滅せしめた

佛國上海駐屯兵　租界外線に進出

維新政府嚴重抗議提出

【上海四日發國通】チエコ問題紛糾以來當地フランス租界當局は露骨なる租界防衛工作に躍起となり勝手に租界外の支那領に軍隊を進出せしめ、トーチカを構築し、バリケードを設置する等常軌を逸した行動を續けてゐるので、維新政府では四日外交部長陳籙氏の名を以てナジャール佛大使宛で左の如き抗議を提出、フランス側の反省を求めた、なほわが外務當局よりも四日同樣趣旨の警告を發した

貴國軍隊は客年十一月以來佛租界外の徐家滙及び虹橋路附近に出動し居り且つ最近同地方において塹壕その他の防備施設を構築し居るところ外國軍隊が任意に中國領土內に侵入し軍事施設をなすことは明かに中國主權を侵害するものにして當政府においては到底承認し難きところなるに就き、右軍隊は速かに之を租界內に撤退せしむると共に本件防備施設工事は直ちに之を中止し、且つ既に工事濟みの部分は至急之を原狀に復舊するやう處置相成度何分の儀御回答相煩はしたく此段申進め得貴意候

ブ元帥投獄か

【京城國通】當地に達した情報によれば、張鼓峰事件敗戰後の極東軍司令官ブリュッヘル元帥はその極東に於る地盤も危機に瀕し且つ地位の保持さへも危ぶまれてゐたが、最近の確實な情報を綜合すると彼は一ケ月以上も任地に歸任しないことが明かにされたが勿論外蒙へ出現したなどは完全なデマであり、一方又極東第一軍黨員第一回會議（開催地ワラシロフ市）へも全然出席してをらず、モスクワへ召喚投獄されたのが確實とされるに至つた、加ふるに極東軍內部は現狀維持派（ブリュッヘル派）と肅清派（モスクワ本部派）とに分裂し、軍人と當局御目附の政治局員との軋轢が增大してゐる折柄、ブ元帥の存否如何は極東軍にとつて重大な影響を及ぼすものとして非常に注目されてゐる

【パリ四日發國通】モスクワ來電によれば、ソヴイエト政府は最近頻りに傳へられる極東方面軍司令官ブリュッヘル元帥の失脚說については否定も肯定もせず一切沈默の態度に出てゐるが、ブリュッヘル元帥がモスクワで監禁されてゐることだけは確實とされてゐる

獨逸進駐軍

【カールスバート四日發國通】一日以降四國協定で決定されたズデーテン・ドイツ地方に續々進駐しつゝあるドイツ軍隊は三日迄に第一、第二地區の占領を完了したが、續いて三日午前から第三地區への進駐を開始し、四日午前には西部國境の主邑カールスバートへ到着、ズデーテン・ドイツ市民が歡呼して迎へる中を隊伍堂々入市した

波蘭聯盟決議に對し

對日制裁意思なし

【東京國通】ローメル駐日ポーランド大使は四日午後四時外務省に堀內次官を訪問、聯盟理事會の決議問題に關し本國政府の訓令に基き帝國政府に對し左の正式申入れをなした

聯盟規約第十六條ならびに第十七條規定の義務に關しポーランド國政府は個々の場合において絕對自由なる立場を保持すとの見解を表明する屢次の聲明に基きポーランド國政府は九月卅日聯盟理事會においてなされたる對日制裁の決議に從ふの意思を全然有せず

チエコ內閣總辭職

【プラーグ四日發國通】チエコ未曾有の難局に際し去る九月廿二日成立したシロヴイ內閣は四日夜一旦總辭職を敢行閣內の異分子を整理して新內閣の組織に乘出すことゝなつた

人事往來

着京

▲貝瀨謹吾氏（滿洲學術聯合會長）四日來京ヤマトホテル ▲門間堅一氏（會社員）同 ▲西村實造氏（滿鐵社員）同 ▲岩午嘉雄氏（全權公使）同 ▲佐久間長吉郎氏（會社員）同 ▲佐方文次郎氏（東拓理事）同 ▲谷川善次郎氏（滿鐵參事）同 ▲和田一義氏（官吏）ニューアジアホテル ▲青井序太郎氏（會社員）同 ▲桑島錦氏（航空會社）滿蒙ホテル ▲三田正夫氏（官吏）同 ▲森田敏氏（拜泉縣副縣長）同 ▲伊藤劉助氏（日清製油）同 ▲今村茂氏（東邊開發會社）同 ▲荒瀨義正氏（會社員）同 ▲松本龍氏（同）同 ▲佐久間寬氏（同）同 ▲齋藤定藏氏（鑛業）同 ▲野中歡一氏（日清製油）同 ▲勝川正人氏（會社員）同 ▲衣川喜重氏（同）國都ホテル ▲小原久男氏（同）同 ▲前川一郎氏（同）同 ▲尾形清氏（商業）同 ▲辻埜豐三郎氏（會社員）同 ▲中村幸三郎氏（同）同 ▲加藤謙次郎氏（鑛業）同 ▲小笠原道生氏（官吏）同 ▲片山令二氏（商業）大都ホテル ▲和田悅藏氏（商業）同 ▲五十嵐眞作氏（官吏）同 ▲新川正浩氏（會社員）同 ▲近藤康男氏（敎師）同 ▲園田勝一氏（稅關吏）同 ▲倉重忠夫氏（映畫業）帝都ホテル ▲松尾伍郎氏（官吏）同 ▲小林元氏（大學敎授）同 ▲秋月清二郎氏（協進商事）同

出發

▲三木當弘氏 四日奉天へ ▲人見雄三郎氏 同 ▲水谷川忠麿氏 開原へ ▲渡邊奉綱氏 大連へ ▲濱崎彌助氏 同 ▲安井光氏 鐵嶺へ ▲金子丈夫氏 吉林へ ▲中村久氏 大連へ ▲本城達也氏 同 ▲山根忠治氏 鞍山へ ▲北川保治氏 龍江省へ ▲武內禮藏氏 北支へ ▲西木弘雄氏 同 ▲山本平八氏 同 ▲木曾重義氏 同 ▲久保幸司氏 奉天へ ▲野原正次氏 同 ▲兒玉儀治氏 依蘭へ ▲相原常一氏 大連へ ▲橋上保氏 北支へ ▲西田隆吉氏 同 ▲山本玉城氏 奉天へ ▲岡崎眞一郎氏 北支へ ▲濱口龜太郎氏 奉天へ ▲森淵松一郎氏 奉天へ ▲大島勇氏 撫順へ ▲二階堂義隆氏 錦州へ ▲桶野權一郎氏 ハルピンへ ▲柴田茂氏 大連へ ▲香取直策氏 奉天へ ▲太田彥作氏 同 ▲黑田啓氏 同 ▲鈴木泰次郎氏 同 ▲吉田晴二氏 大連へ ▲加藤德雄氏 四平街へ ▲梅原俊明氏 奉天へ ▲矢野壽隆氏 哈市へ

その日〳〵

□獨逸次にはバルカンを目指すと、鋭敏な世界の眼はゝやくもさう感じて居る

□すべてのものゝ上に、彼等のこの氣慨はまさに壯としてよい

□國民政府の諸機關はゝやくも昆明へ、その次はビルマ位しかないが

□全聯十日の熱心な審議、その成果を顧み全代表の勞を謝さう

□收穫の秋、そしてまた省察の秋、非常時に考ふべきことは非常に多い

皇后陛下の思召を拜して 御懿旨に應へん
御歌を拜して植田大使謹話

日本皇室の傷病兵の上に垂れさせ給ふ御仁慈の數々は眞に畏き極みであるが、この度皇后陛下には重ねて戰線に傷いた白衣の勇士の上を思召される御仁慈深き御歌を御下賜あらせられたこの有難き御沙汰を拜し植田駐滿全權大使は恐懼感激して四日左の如き謹話を發表した

皇后陛下におかせられましては陸海軍々人として傷痍を受け又は疾病に罹れる民草の上に御心を注がせ給ひ本月三日有難き御歌を拜し奉りましたることは御懿德の高遠なる洵に恐懼感激に堪へない次第であります、陛下には常に傷病、戰歿者の遺族及び出征應召者の家族等の身上に深く御心を留めさせ給ひ曩には出征應召者の家族又は戰歿者に對する御歌を拜すると共に數々の御恩命を拜し奉り、又親しく陸海軍病院に收容中の傷病將兵を御見舞遊ばされたるほか各宮妃殿下を全國各地の陸海軍病院に御差遣遊ばされ、殊に遠く關東州にまでも御差遣を辱ふ致し御見舞を賜はりましたことは國民の齊しく感激致して居るところでありまして、誠に重ね〴〵の有難き思召を拜し只々感泣の外はありません、此上は思召を體し官民一致協力以て傷痍軍人保護の萬全を期し、御懿旨の萬一に應へ奉らねばならぬと存ずる次第であります

ラヂオを總動員 富家强國週間
八日から健全生活講座放送

新京、奉天、大連、哈爾濱、の四中央放送局では協和會首都本部主催の富家强國運動に呼應し消費、節約、貯蓄、廢物利用の趣旨を徹底させるべく來る八日より十四日迄の六日間（九日を除く）に亘つて健全生活講座を開始し、それ〴〵關係方面識者の講話を全滿に放送する

△日程左の如し

八日 健全なる生活へ（新京）岩田消費組合理事
十日 衣服と節約（大連）講演者未定
十一日 廢物利用色々（哈爾濱）中村義人
十二日 代用食について（奉天）醫學博士 安部淺吉
十三日 國民貯蓄について（新京）岡本郵政局副局長
十四日 家庭と健康（哈爾濱）井之川市公署衛生處長

尙八日及び十日は午後七時三十分より同八時迄別に特別講演の放送を行ふが講演者及び題目左の如し

八日 午後七時半―健全生活週間の提唱 橋本協和會中央本部長
午後七時四十分―富家强國運動について 古海企畫局副局長
十日 午後七時半―國民精神動員に就いて、星野總務長官
午後七時四十分―民衆娯樂と弊風打破 宮澤民生部次長

徐州に放送局

【徐州四日發國通】日本放送協會ではいよ〳〵徐州に放送局を開設することになり、目下平塚派遣員の手によつて着々準備が進められてゐるが、場所は南關獻馬臺で十一月三日の佳節をトし初放送を行ふ筈

四大學々監協議會

新京醫大、哈爾濱工大、奉天農大、高等師道四大學々監協議會は來る廿一、廿二の兩日民生部會議室に開催、建國精神の把握狀況、時事問題と學生の關心及び認識の程度、閲讀してゐる書籍、新聞の種類傾向等を中心として協議、學生今後の精神的訓育の大綱を決定する筈

留日學生の派遣資格强化
素質の向上を圖る

教育司大學教育科では留日學生の素質向上策に關し、目下滯京中の滿洲國留日學生會館理事長平田幸弘氏の狀況報告を參考として對策考究中であるが、今後留日學生派遣上派遣資格として强化されるものとみられるものは

一、從來試驗に合格したものに對し留日認可を與へてゐたが、今後合格者と謂ども一定期間内留學生豫備校に入學せしめ、その後に於て留學せしめる

二、留日學生總數は現在約二千人でこの大半は既婚者といふ狀態であるが、既婚者は從來の例に徵し修學上種々の弊害を釀してゐるので今後留日學生の銓衡にあたつては未婚者に認可を與へる方針をとる

なほこの外優秀留日學生の研究を助成せしめ滿洲學術の振興を圖る目的から在外研究員制度設定も目下計畫にのぼつてをり、以上諸件の具體化に伴ひ當局の目論む留日學生の素質向上も一段の拍車をかけられるものと期待されてゐる

室町小學校 記念式を擧行
創立三十周年を迎へて

新京室町尋常高等小學校では來る十日から十一日にかけ別項の通り同校創立三十周年記念行事を催す

一、記念式＝同校講堂に於て十日午前十時開式
式次第、一同着席、一同敬禮、開式の辭、君が代、勅語捧讀、敕語奉答歌、學校長式辭、管理者告辭、祝辭及祝電、勤續者表彰、校歌合唱、閉式の辭、一同敬禮
一、記念植樹＝記念式後引續き行ふ
一、記念展覽會＝同校正面第一棟および各特別教室に於て十日は午前九時より午後五時まで、十一日は午前九時より正午まで開催
一、追悼慰靈祭＝同校講堂に於て十一日午前十時より、在職中物故した職員および在校中早逝した兒童の靈を慰む
一、記念音樂會＝十一日午後二時から公會堂に於て

財部大將等參内

日本學術振興會滿洲委員會委員、同會總務部長財部彪海軍大將、同會理事吉田豐彥中將、大陸科學院長鈴木梅太郎、昭和製鋼取締役小柳津正藏、滿洲學術聯合會々長貝瀨謹吾、滿鐵中央試驗所長丸澤常哉、旅順工大學長野田淸一郎、奉天醫大學長松井太郎の八氏は五日午前十時十分參内、同卅分皇帝陛下に觀見を賜つて退下した【寫眞は參内の財部大將】

南滿沿線忠靈塔詣で あす團体出發
參加申込みは明朝まで

新京長勇會、新京驛、ビユーロー新京案内所主催、本社後援の南滿沿線、鐵嶺、奉天、遼陽、鞍山、瓦房店、金州、大連、旅順各地の忠靈塔參拜戰跡見學團は好評裡に明六日夜出發するが聖戰酣の秋赫々たる武勳をたてゝ護國の鬼と化した英靈眠る忠靈塔に參拜武運長久を祈る意義深い催しなほ多數の參加を希望し明日出發前まで申し込みを受付ける

團費 大人十七圓 小人十圓八十錢

△日程 十月六日（木）三十分前に驛一、二等待合集合、新京發二三、三〇時、七日（金）鐵嶺着五、一二時、同發一一五時、忠靈塔參拜（徒步）及朝食、奉天着八五八時、同發一三、一五時忠靈塔參拜（徒步）及晝食遼陽着一四、三四時、同發一六、二八時、忠靈塔參拜（徒步）鞍山着一七、一五時、同發二三、三八時忠靈塔參拜（馬車）及夕食八日（土）瓦房店着四、三二時同發七、二〇時、忠靈塔參拜（バス）及朝食、金州着九、一九時同發一三、三九時、忠靈塔參拜（徒步）及晝食、大連着一四、二五時神社及忠靈塔參拜、九日（日）大連發一二、〇五時旅順着一三、三一時、同發一七、三〇時頃、大連着一八、三〇時頃、同發二〇、〇〇時忠靈塔參拜及戰蹟見學、自由解散一九、二〇時迄大連驛集合、十日（月）新京着八、〇〇時

注意事項
一、凡て行動は世話人の指示にお從ひます
二、集合時刻は嚴守、特に歸途大連驛集合は稅關の關係上乘込の都合に依り發四十分前には必ず集合願ひます

滿洲國婦訪日團 メッセージ發表

滿洲國々防婦人會訪日代表使節のメッセージ次の如し

今回われら國防婦人會一行は事變下の日本を訪問することの出來ることに無上の光榮と欣喜とを感ずる次第であります

私共一行は滿洲國の國防婦人會の使命に基き盟邦を訪ひ戰時下における日本の現勢、特に日本帝國々防婦人會の活動振りを親しく視察して歸國後本會の新しき參考に資したいと思ひます、その滿洲國々防婦人會は、その誕生日なほ淺く日本の皆さんにいろ〳〵御補導を仰ぎ國防婦人會が家庭を通じて日滿堅く結合したいと存じます

友邦日本は事變下に何等の動搖もなく大國民の襟度を持して結束目覺しく活躍せられてゐる姿を見まして感を新たに致します、何しろ私達は學識經驗ともに薄く冀くば友邦朝野の賢士名媛の多大なる御指導と御援助を仰ぎたくもつてわれらの不足を補充したいと考へまして、よろしく御便宜を與へ下さるやう切に希望しお願ひする次第で御座います

滿洲國々防婦人會 會長 張徐芷卿

三江省內討匪狀況

三江省內の集團集家部落は八月末をもつて全地域にわたり完成し、省內殘存匪は全く衣食住に窮し、餓死線上を彷徨しつゝある、この好機に乘じ日滿軍警は秋季討伐を開始しその全滅も近き將來にありと見られる、なほ七、八、九三ヶ月間における日滿軍警討伐成績は左の通りである

出動回數 一、〇六三
交戰回數 三二一
遭遇匪數 一六、六五三
匪死體 一、〇四四
山寨覆滅 四七〇
鹵獲小銃 四四九
同 彈 二三、〇一六
同 拳銃 一九四
同 彈 一、八一四

なほ右期間における歸順匪五〇三である

女中さん家出

市內興安胡同三〇三居住中央銀行々員窪井供道氏方の女中杜石花（十九）は四日午後十一時頃無斷家出したまゝ翌五日になるも歸宅せず、順天警察署に捜査願出た、背後には手をひく男性があつて誘拐と見られ目下捜査中である

三萬米競步に 世界新記錄

【ベルリン三日發國通】リガの競步選手リー・ブカルンス選手は三日當地で行はれた三萬米競步競技において二時間三十二分三十四秒の世界新記錄を作つた、從來の世界記錄はラドヴィアのダリンシ選手の二時間三十七分三十七秒六である

退却した將兵は發見次第 八つ裂き火あぶり
捕虜將校督戰隊の暴狀發く

【上海五日發國通】四日新店攻擊中のわが〇〇部隊に捕へられた敵第廿七師所屬の少尉陳某（二七）は左の如く殘忍極まる支那軍督戰隊の暴狀を暴露しわが將兵を憤慨させた

新店攻擊中の日本軍の勇敢さには支那軍は全く怖氣をふるつてゐる、新店を中心とする省堺の陣地を死守してゐる支那軍は廿七、廿九、卅、卅一、八十八、百十八師等であるが第一線陣地には約七千ばかりが配備され、その他は新店以南に豫備兵として控へてゐる兵器・彈藥は非常に豐富でこれらの各師は殆んど日本軍の漢口進攻に備へて强制徵發された新募兵であるが、支給された兵器は全部外國製の新品ばかりである、之に反し糧食は非常に缺乏し將校は一日二回飯を喰つてゐるが、兵士は一日一回の粥さへ渡らぬ日が多い、下級將校の中には相當抗日思想の濃厚なものも居るが上級將校と新募兵には殆んど戰意がなく殊に新募兵は日本軍の砲擊が始まると逃げ腰となる、そのために督戰隊からこつぴどい目に遭はされてゐる、日本軍の攻擊が最近激烈となるに伴ひ新募兵の集團逃亡は指揮者の命令を肯かずに勝手に退却する者が著しく激增して來たので督戰隊の督戰振りもいよ〳〵殘忍を極め新募兵の退却した者は發見次第どし〳〵八ツ裂き火焙りの極刑に處しその殘虐さには味方の者も目をそむける位で督戰隊に對する反感は一觸卽發の危機を孕んでゐる、之ら處刑者の死體は新店市街の各樓門に曝しものにして他の見せしめにすると云つた狀態でその暴狀は鬼畜以上で團長營長の上級將校の中にも督戰隊の魔手にかゝつて虐殺された者があり、また同日人形山の戰鬪で捕虜となつた一等兵歐某（四〇）は强制徵發された當時の狀況を左の如く語つた

自分は河南の許昌縣の者だが一月半ばかり前に突然警察隊に狩出されて否應なしに兵隊にさせられた、當日は警察隊が城壁の周圍を包圍し逃亡者を防ぎ數餘の徵發隊が城內をくまなく搜索して男と云ふ男は全部狩出された、その中十三、四歲以上四十四歲までの屈强の者が八百名徵發されて卽日小銃と彈藥を負はされて兵士にされ、翌日は許昌を出發漯城に送られて來た、自分は第卅師で同師は二旅四團制になつてゐるが兵士は殆んど全部新募兵許りでそれも徵發されてから此處へ來るまでに半數許り逃亡して自分と一緒に徵發された八百人も途中で四百人許り逃亡したが自分は遂にその機會を失ひその儘連れて來られたがまだ鐵砲の操法さへよく知らない、日本軍の砲擊の正確さには驚く許りで屁風山（人形山西方の高地）の戰鬪では日本軍の集中砲火の爲に僅か半日で五百人から居つた一個營の者が五十二、三人になつて終つた

けふから全國一齊に 銃後々援强化週間

【東京國通】長期戰下の國民の覺悟を新にする銃後後援强化週間は愈々五日から全國一齊に開始される、この週間中各府縣においては戰歿勇士の慰靈祭、新興祭軍人傷痍徽章傳達式並に傷痍軍人や出征勇士に對する感謝會等が開かれるが帝都では週間第一日の五日午後六時五十分から日比谷公會堂で厚生省、東京府市、中央聯盟の主催で「銃後後援强化大講演會」が開催され板垣陸相、米內海相、木戶厚相、永田秀次郎氏等が壇上に立つて六百萬市民に銃後後援の强化に就き獅子吼することゝなつてゐる

全滿サイクル

體育聯盟奉天事務局主催の第四回全滿サイクル選手權大會は十月二十三日午前十時より奉天國際運動場で擧行することゝなつた、大會要項次の如し

一、種目 千米、三千米、五千米、一萬米、重荷競走、職業別對抗チームレース
二、入賞 各三等迄
三、參加制限 一人三種目迄
四、申込〆切 十月十七日迄に奉天國際運動場事務所に姓名、所屬、年齡明記のこと

備考
1、出場全額自費
2、重荷競走は荷受車に重量五貫の俵を載せ千米を競走す
3、チームレースは一チーム三名とし二千米競走とす、レース用車の使用を禁ず

港灣協議に 朝鮮側代表來京

鴨綠江河口港及び北鮮三港に關する協議會は七日新京にて開催日滿各機關の代表者が出席する筈であるが朝鮮總督府からは大竹內務局長、榛葉土木課長、坂本事務官、山名關稅課長、秋澤外務部長、鐵道局西崎監督課長、山田遞信局長の一行が出席することゝなり一行は七日午前十一時着のぞみで着京の豫定である

吉野前商相

滿洲各地を視察中の前商工大臣吉野信次氏は十日午後九時三十五分着列車で來京の豫定

代谷哈爾濱郵政管理局長豫定

哈爾濱郵政管理局長に榮轉した前新京郵政管理局副局長代谷勝三氏は後任松岡三雄氏の着任を俟ち十日頃赴任の豫定なほ松岡氏は八日着任の豫定

紅灸の開設

お灸の治病に絶大なる効果あることは昔からの定評であるが最近は九大の原京大の青地博士其他數博士により科學的に認められ一般大衆の認識も改まりつゝあるが今般寶山百貨店前に開設されたお灸は辻の紅灸と云ふ家傳灸まで諸種の病氣に偉大なる効果ある由尙ほ出征軍人警察官の遺家族には無料にて施灸されるに付希望者は申出られたいと

吉林省公署異動

吉林省公署人事異動（警務關係九月三十日附）
省屬官 庄子誠造 任警正應即休職（蒙疆入り）

コロンビア ショウ來社

六日午後七時半から本社後援の下に西廣場俱樂部で開演する流行歌界の女王丸山和歌子を中心とするコロンビヤショウの一行は五日挨拶に來社

東寶の山中監督

【東京國通】昨夏勇躍映畫界から應召久我部隊に屬して活躍中であつた山中貞雄軍曹（二九）は〇〇の戰線に於て負傷第一線を退き野戰病院に入院中つひに名譽の戰傷死をとげた旨四日東寶に入電があつた、山中監督は未だ獨身で高知縣生れ京都一商卒業後直ちに舊マキノに入つて映畫界へのスタートを切つたが、監督の第一步は廿三歲の時で現在時代劇監督陣の至寶として東寶にあつた、「抱擁の長脇差」が出世作で「街の入墨者」「河內山宗俊」「紙風船」等の傑作がある

下野豐光君戰死

吉林省公署經理科勤務雇員下野豐光君（二六）は昨年八月應召〇〇快速部隊の上等兵として中南支の山野に活躍中であつたが、今回の武漢攻略戰で〇〇に於て敗走する敵を追擊中頭部及胸部に貫通銃創を受け名譽の戰死を遂げた旨四日正午原隊より入電があつた同君は鹿兒島縣薩摩郡下東鄉村の出身である

石井審計官逝去

石井純一審計官は豫て內地にて病氣療養中のところ一日午後東京中野の自宅で逝去した旨滿洲國政府に入電があつた

山口勝中將逝去

【東京國通】退役陸軍中將山口勝氏は腦溢血のため四日午前青山高樹町の自邸で逝去した、享年七十七

あす（六日）

▲婦人修養講習會、午前九時半、白菊俱樂部 ▲林檎子女史講演會、午後二時、西廣場俱樂部 ▲丸山和歌子一行公演、西廣場俱樂部

今晩の主なる放送

▲七、三〇銃後後援强化大講演會（東京）▲八、四〇フリユート三重奏（哈爾濱）ニーナフオーキナ ▲九、〇〇義太夫さわり集（大連）竹本團勝外

コロムビアショウ
―丸山和歌子一行―
六・七日二日間　西廣場倶樂部

唄と踊りの豪華ショウとして來滿以來壓倒的な好評を博してゐるコロムビアショウ一行は本社後援の下にいよ〳〵あすから二日間滿鐵西廣場倶樂部に於て蓋を開けることになつてゐるが、一行の主なる顏觸れは左の通りである

コロムビア流行歌手　丸山和歌子
伊太利歸朝テナー　川崎豐
タップダンスのホープ　ジョージ米田
新興舞踊の新進　角博家子
丸山和歌子實妹　丸山百合子
ピアニスト　林百合子
マスターオブセレモニー　瀬尾實

丸山和歌子は東京淺草に於てエノケンや古川緑波に代つて一身に人氣を背負ひ流行歌界の女王として君臨してゐる當代一流のソプラノで甘い流行歌や小唄は恐らく凡庸のレコード歌手には眞似の出來ない歌ひ振りを示してゐる、川崎豐は伊太利歌劇のテナーで、樂壇の重鎭でもあり得意の伊太利歌劇は比類のないもので殊に難曲と云はれてゐるプチニの『お蝶夫人』やヴェルデイの『リゴレット』等を安々と歌ふあたり寥々たる樂壇に儼として輝く存在である、その他ハリキリボーイとして將來を注目されてゐるタップダンスの新進氣鋭ジョージ米田や新興の氣運に乘つてゐる古典派舞踊の若く美しき角博家子がゐる、從來の演奏會に見られない女流ピアニスト丸山和歌子の實妹丸山百合子や林百合子の兩女性を加へてゐる豪華なスタッフである、尚マスターオブセレモニーの瀬尾實は曾て吉本興業部の演出監督をしてゐた變り種で、その漫談も異色的存在として知られてゐる【カットは「お蝶夫人」の舞台面】

新興東京「砲煙の天使」
シナリオ進む

新興東京が、脚本現地執筆の新企畫によつて映畫化を發表した、從軍看護婦物語「砲煙の天使」は、脚本擔富の小出英男が去る九月七日〇〇出港の〇〇船に便乘して現地にむけ出發、戰塵の跡生々しき支那戰線一帶にペンの行軍を續けてゐたが、この程北京より左の如き潑溂たる現地報告を撮影所に寄せた

話題の多い北京を出て愈々保定、太原を經て臨汾にむかふことになりました、「砲煙の天使」の生きたシナリオが、行く所、到る所に充滿してゐます、奮戰する皇軍將士に混つて、男子に優るとも劣らぬ活躍を續けてゐる從軍看護婦には、實際、鬼神を哭かしむる挿話が數限りなくあります、野戰病院の看護婦達から「生きた資材も聞きました」「妾と兵隊」か兵士の報告書なら、僕の「砲煙の天使」は映畫作家がはじめて生む汗と感激の大記錄書です、必ず傑作を物さんと頑張つてゐます

「保險報國週間」
錄音完成

滿映文化映畫、大森伊八監督撮影の「保險報國週間」（假題）は去る一日、長春大街の滿映錄音所にて李交通部大臣の「郵政生命保險開始一周年記念に當りて」と題する講演を、皆川協和會總務部長の「國民生活と郵政生命保險」と題する講演を滿映新購入の獨逸製シネホーン同時錄音撮影場に依つて錄音撮影を完了した

「田園春光」配役
スタッフ決定

【スタッフ】原作脚色　山川博、監督　高原富次郎、撮影　杉浦要、音樂　長沼精一、主題歌　中山義夫、奥一、進行　佐川英夫、錄音　井口博

【配役】渇海臣（崔德厚）その娘陽芬（李鶴）その母（于潛）明哲（周凋）趙明禮（戴劍秋）その伴家䘵（杜撰）その妹香馥（張敏）その愛人永祥（劉恩甲）乳母（趙鑫嗣）ボン引き（爺盛嶽）合作社員（陳超）

サボテン

ねえヤーさん、千代之助は江戸ッ子ですよ、國都新京がきいて呆れらアね、こんな草ッ深い田舍村をさ、藝者の溫習會、フヽンだ、なにもあたしなんかひつぱり出さうとしなくてもよささうなものよ、立派な姐さん達が掃く程居るぢやないの、やりたいものはやるがいゝさ、紋付を着てずらりならんで扇を膝の前に乙に氣取つてお辭儀をし、口を動かしてりやアすぐにすんでしまうのさ、長唄なんて甘いものさね、ヤーさんわかつてくれるでせう、あたしやア義太夫が本藝ですよ、憚りながら千と二千のお客を前に賣込んで來たあたし、見損つちや困るよつてもんよ、ラヂオ放送も何度やつたか、こんな田舍ぢやあたしの値打を買つてくれてが無い、なにも買つてくれつてんぢやないんですがね…と或る夜あるところで襖越しに聞いた扇芳亭の千代之助の怪氣焔、ヤーさんなる先生、ウムさうだ、尤だと油をかけるもんだからます〳〵調子に乘つて、あたしの〇〇れあひの弟が藥劑師で儲かるとか、あたしの月の稼ぎ高がいくらいくらだとか、ないしよのことまで耳に飛び込んでしまつた斯くて、ねえヤーさん、笑ちやん亞細亞會館に待つてるさうだから行きませうよ、ねえヤーさん笑ちやんはあんたに惚れてるやうだワと今度は千代之助が油をかけてゐる、やがてお車がまゐりました……で、後は知らない

雜音

本社後援「コロムビア・ショウ」を皮切りに又一しきり演藝ものが賑ふ、十月中に豫定されてあるものを拾つて見れば▼前記ショウに次で「漫才爆笑突擊隊」が七日より三日間公會堂へ、十四日よりは「魔術松旭齋天華一行」が同じく公會堂へ三日間▼この後へ廿三日より石井漠一行が

四年ぶりに來演する他、三浦環の獨唱會も豫定され、豐劇へは「大市乙女舞踊團」が揭る▼その他浪曲、萬歳等下旬から來月にかけて相次で豫定され、大作プロを組んでゐる映畫館と對抗して秋シーズンの本格的な賑ひを呈することゝなる

舊十八月十三日
木曜　辛未　友引　開　井宿
東京・本鄉・神誠館

●一白の人　金鱗あるが如く見へても手中に止まり難し　丁と庚と癸が吉
●二黑の人　四園の無事なるより却て心の緩みを起す日　甲と卯と未が吉
●三碧の人　一喜一憂運氣不定の日なり內を守るが安全　丁と庚と辛が吉
●四綠の人　其の職に忠實なれば貧乏神も逃げ去るべし　丁と庚と辛が吉
●五黃の人　拗らざれども成行きを以て進むが無事なり　卯と巽と未が吉
●六白の人　正しき道に依れば何事も通達する隆運の日　甲と未と庚が吉
●七赤の人　守るよりも進むを先きにすべき日旅行は凶　乙と未と丑が吉
●八白の人　人を容るゝの量なければ邪魔の入り來る日　甲と乙と未が吉
●九紫の人　謙遜の德は我を樂園に導くものと知るべし　丙と戌と丑が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一ケ月壹圓　一部五錢　郵税一ケ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行武圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二二五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

四川、湖北を猛爆
海軍機、快晴利して長驅
敵各據點を蹂躪す

【上海五日發國通】艦隊報道部五日正午發表＝海軍航空部隊は武漢攻略戰において海軍遡江作戰部隊及び海軍陸戰隊と共に作戰するの外陸軍部隊の作戰に協力し連日敵に大打擊を與へつゝあり、九月中の協力作戰において投下した爆彈數は一日七百發を超過したる事屢々あり、その爆彈數量一日六十噸乃至七十噸に及ぶ事もある狀況なりしが、四日もまた粤漢線、京漢線方面にわたり廣く敵情を視察し敵陣地に對し百餘機をもつて連續攻擊を加へたる外久方振りの快晴を利して長驅四川省及び湖北省の敵各據點を蹂躪せり、その概況次の如し

一、安延指揮官の率ゐる部隊は四日正午頃成都、漢口間の要衝梁山を强襲し、敵戰鬪機廿餘機の嚴重なる警戒線を突破して地上にありし敵機中大型機六機、戰鬪機三機を爆破したるほか建物二棟を粉碎その一ツを炎上せしめ、群がり來る敵戰鬪機の中七機を擊墜して悠々歸還せり

二、菅久指揮官の率ゐる部隊は安延部隊の攻擊に策應して重慶を急襲、地上の敵機二機及び建物二棟を爆破炎上せしめたるほか至近彈により四棟を爆破せり、空中に敵機を見ず

三、添田指揮官の率ゐる部隊は漢口北方の孝感飛行場を爆擊し、山上指揮官の率ゐる部隊は湖北省北端の襄陽及び老河口飛行場を爆擊せしが空中戰鬪または地上砲火の彈片を受けたるもの數機ありしも乘員には被害なく全機歸還せり

重慶を三度び空襲

【香港五日發國通】重慶來電によれば、我飛行部隊は五日午前九時半事變以來第三回目の重慶空襲を行ひ重慶郊外飛行場に爆彈十個を投下、敵に多大の損害を與へた

宜昌を爆擊

【香港五日發國通】中央通信宜昌來電によれば、我空襲部隊〇〇機は四日午前九時揚子江上流湖北省の要地宜昌を襲擊、猛烈な高射砲火をあびつゝ市內各所軍事施設を爆擊した

箬溪永修街道で敵大部隊を猛爆

【〇〇基地五日發國通】箬石橋、永修、武寧及び南昌などの敵の要地に對しわが陸軍航空部隊は四日も前日に引續き爆擊を敢行した、特に武寧に對し三回、永修に對しては四回も爆擊を反復し徹底的に破壞した、また五日朝箬溪、永修街道上の甘木間以東に於て一萬を下らぬ敵の大密集部隊が續々退却中なるを發見、澤田、中尾、北村などの各部隊は全力をあげて先づこれを掃射潰亂せしめ、ついで鹽田、石川、吉田の各部隊は敵の頭上低く降下して猛爆を加へ多大の損害を與へた

馬鞍山占領

【上海五日發國通】艦隊報道部五日午後一時發表＝昨四日正午半壁山を占領せる海軍部隊は五日正午その西方要衝馬鞍山を占領せり

戰車隊掩護下に敵陣へ突入（廬山戰線）

中武部隊長戰死

【半壁山五日發國通】海軍陸戰隊中武滿雄部隊長は昨四日午前八時半壁山攻略戰において無念にも頭部に貫通銃創を受け名譽の戰死を遂げた

廣部中佐戰死

【箬溪北方にて五日發國通】箬溪攻略戰に際し廣部中佐は去る廿六日夜箬溪平野を一望に瞰下する敵第一線陣地たる鉄鏑峰を占領し、陣頭に立つて奮戰中無念にも腹部に一彈を受け江南戰線の華と散つた、廣部中佐は（千葉縣出身）北京興安門事件の勇士として聞え溫厚篤實、部下の信頼を一身に集めてゐた武人であつた、武寧街道を山嶽草鞋を履いて馬が足を辷らす樣な嶮峻な斷崖を縫つて前進しピラミツトのやうに屹立する嶺々を征服して長隘路戰成功の端緒を展きわれに數倍する優勢なる敵が死物狂ひに守備する白水街に迫つて陷落寸前に護國の華と散つたもので其の戰死は非常に惜しまれてゐる

チエコ內閣
再組織に成功す

【プラーグ四日發國通】チエコ首相シロヴイ將軍は四日總辭職後直ちに內閣再組織に着手、スロヴアキア黨代表チエルナツク無任所相の辭職に伴ふ內閣再統一を實現する新內閣の組織に成功した、新閣僚の中最も注目すべきはクロフタ前外相が隱退し、その代りに駐伊公使チバルコフスキー博士が外相に拔擢されたことである

江南敵大縱陣地を
肉彈、中央突破す
要衝箬溪攻略戰詳報

【南京五日發國通】中支軍五日午前七時卅分發表＝九月十六日瑞昌附近より攻擊を開始せるわが部隊は、江南の敵大縱深陣地の中央を突破すること十五里餘り、十月三日箬溪北方一帶の堅壘を攻略し五日未明一部を以て遂に箬溪を占領せり、箬溪は南は武寧を經て長沙に通じ東は德安を經て九江に、或は永修を經て南昌に通ずる戰略上の要衝である、かくて德安及び永修方面の敵は武漢方面と遮斷せらるゝの窮境に陷りたり

【箬溪東方高地にて五日發國通】わが吉田、山田等各部隊の一齊突擊により貴重なる箬溪の一戰に破れた敵軍約十ケ師は約十日間の激戰に或はたほれ或は傷つき殆どその大半を失ひ支離滅裂となつて東方及び西方に向け退却中である

【箬溪五日發國通】戰史に不滅の一頁を遺したわが軍の箬溪攻略に揚子江岸における田家鎭攻擊と殆ど日を同じうして十六日開始されたが同時に江南戰線において瑞昌占領部隊の西進いよ／＼果敢を極め一部は早くも富池口要塞に迫り他の部隊は夾溪湖に注ぐ無名河に潮の如く殺到し廬山南方戰線又喩峰西孤嶺を手中に收め、敵は富池口南廬山南部より華觴山に至る弧形狀陣に殆ど江南の全師を集結した、この機に乘じ敵の德安方面集團と武漢方面集團の中央突破を敢行して敵防禦線を寸斷すべしとの秘命を帶びたわが軍は十六日勇躍進發總攻擊を開始、同日箬溪防備第一線馮家鋪を先づ血祭りに擧げ爾後一週間天候の不良による空軍の協力不充分などの惡條件を克服して敵密集陣地を破碎しつゝ一路西南に進擊、途中橫港灣の激戰に勝鬨を擧げ廿三日箬溪の北四里大屋田村に進出した、この頃より天候稍回復して敵は漸くわが中央突破の氣勢を覺つたもの如く全線に援軍を續々送りわが左側背を衝くべく頻りに攻勢を示し來つた、ついで廿四日大屋田村を制壓したわが軍は々箬溪に進擊を開始した、廿五日わが方戰線正面は四里にわたる敵各據點を力攻又力攻廿六日覆血山の西馬鞍山（標高五百米）據點を拔く、この日より戰況は漸次左本街道方面より進捗、昆崙、白水街方面は激戰愈々酣はとなる、廿七日白水街と西方高地一角を奪はれた敵は增援多數を得て士氣振ひ全線にわたつて大逆襲し來りわが軍奮戰悉くこれを擊破す、同日より連日連夜馬鞍山方面より箬溪守備陣に猛攻擊を敢行、廿九日後續の有力部隊大屋田村に到着、卅日諸部隊奮戰して馬鞍山北面の敵陣地を逐次奪取、十月一日漸く羅磐山に取りつく、三日間の登攀戰奏功し羅磐山を制壓す、左正面白水街、昆崙山、白龍頭方面の敵防守尙固く激戰を展開、四日折柄の皎々たる月明の下壯絶な夜襲を決行、突進二里、五日午前二時過ぎ先鋒吉田勝部隊箬溪に突入掃蕩一時間これを完全占領し中央突破敵軍寸斷の覇業は遂になつた

箬溪は三鎭側面防禦の要害

【箬溪五日發國通】五日未明陷落した箬溪は瑞昌西南方廿里の地點にあり、戸數は僅かに百餘戸の村落に過ぎないが南昌德安方面より武寧修水に至る軍公路、更に瑞昌武寧街道路と通山を經て漢口に至る道が交叉する交通上の要衝を占め背後には洞庭湖と鄱陽湖とを結ぶ修水の流れを控へ水路交通の要點にあたり、北方正面には羅磐山、白龍頭の峻嶮を始め重疊たる連峰を以て包まれ武漢三鎭の側面を防禦する絶好の要害をなしてゐるこれがため古來箬溪を制するものは武漢を制すると謂はれ從來屢々激戰の巷となつたもので殊に國民革命軍北伐中の折北軍との間に箬溪を中心として大決戰が展開され、此一戰に各北伐軍が漢口攻略戰に於るチヤンスを確實に掴み得たとは餘りに有名な事であるさればこそ今戰鬪に當り支那軍は實に精銳十ケ師を茲に集結し來を持み堅壘に據つて雌雄を決せんと圖つたのであるが、我勇猛果敢なる將兵は萬難を克服し攻擊開始以來纔かに十日にしてこの堅陣を拔き漢口、南昌、德安を結ぶ水陸兩路の切斷に成功したのである

湖北省境に重壓
江北戰線戰果擴大

【白雀園五日發國通】大別山系北麓に鋭意戰果を擴大中のわが部隊は砲兵ならびに空軍の緊密な共同作戰により嶮路を冒してそれ／＼前面の敵を猛攻湖北省境に重大壓迫を加へつゝある、敵はこれに對しぞく／＼援軍を送つて陣地強化に狂奔してゐる模樣であるが、大勢は日を追つてわれに有利に轉じつゝある、即ち

一、新店附近では去る三日以來夜に日をついで敵を猛攻四日午後に至り遂に敵の最も恃みとする據點を確實に占領した、この戰鬪において敵の損害は遺棄死體三百五十、鹵獲品輕機十、小銃五十、手榴彈一萬發、小銃彈十萬發、わが方の損害は輕微であつた

二、沙窩方面では白雀園を進擊する部隊が四日夕刻その西方十二粁の諒亭西方約三粁に進出したのをはじめ黄峴附近より西北方に進出した部隊は泉灣（白雀園西南七粁）を占領してそれ／＼戰果を擴大中

專任外相當分設けず
近く次官その他決定

【東京國通】近衛兼攝外相は諸般の情勢を考慮に入れた結果、當分の間專任外相を設けず堀內次官を駐米大使の後任として轉出せしめ、新次官には北京駐在大使館參事館澤田廉三氏を起用することに決定した

なほ宇垣時代よりの懸案である局部長級異動については差當り東亞局長の更迭のみに止める方針であり、東亞局長にはルーマニア公使栗原正氏を起用し、東亞局長石射猪太郎氏は歐洲駐在の公使として轉出に內定した、また次官の更迭は米國よりのアグレマンあり次第發令されることゝなつてをり、東亞局長の更迭は石射氏の轉出先決定と同時に發令される筈

佐藤有田兩外交顧問の辭任決定

【東京國通】宇垣外相の辭任に伴ひ佐藤、有田の兩顧問は辭表提出中であつたが、近衛首相は諸種の事情よりその辭意を容れることに決定、政府は五日その手續きを執つたので六日正式發令を見ることゝなつた

高木大尉戰死

【箬溪五日發國通】鉄鏑峰の血戰に敢然陣頭に起つて突擊した高木哲壽大尉は廿七日夕刻敵前五十米の地點で敵の投げた手榴彈の全彈を頭部に受け護國の華と散つた、同大尉は去る十九日丁家山の戰鬪で敵大部隊の夜襲を受けた際、將兵を指揮し彈丸を射ちつくすや最後には岩石を山頂から敵目がけて投げ落し應戰、遂に一歩も讓らず優勢なる敵を擊退した勇士である

興安四省の機構を改革
原案作成を急ぐ

政府は近く勅裁を仰ぐ運びとなつた開放蒙地處理要綱の實施により來る十七日行はれるべき諸般の手續が大體終へることゝなつたので愈々特殊の行政區域を包含する現地興安四省の機構改革に乘出すこととなり內務局を督促して原案作成を急ぐことゝなつた、而して政府の企圖する改革方針は（一）興安行政區域における下部行政機構の整備改革（二）地方行政事務の輻輳による現地執行機關の擴充と人口數に反比例する不合理な省行政區域の是正に重點が置かれるものと豫測される、即ち政府としては街村制の實施以來蒙地にも漸次之を適用する意向を有してゐたが、その特殊性に鑑み古來より慣習的に運營されてゐる素朴な下部行政制度を一應そのまゝ認め地域的漸進主義により街村制の立法樣式を浸透せしむべくこの間一定期間の試驗期を存置するものと解される、又これ等の實施運用に伴つて旗制、旗官制の分離法制化を圖ると共に省公署機構を强化擴充し或る程度省長の權限擴張の必要ありとしてゐるが、更に省の行政區域が現在屬地的に判定されてゐるのでこれを屬人的見地に基いて省行政區域を再分割すべきものありとしてゐる、かくて開放蒙地の處理と王族身分の特權返上などの新情勢到來を契機とし蒙古行政區域の各分野に亘つて再檢討が加へられ、それによつて新事態に即應すべき改革案の樹立は益々重要性を附加し來つた

本年度追加豫算
十日の閣議に上程

滿洲國政府では臨時帝室費をはじめ三江省治安肅淸工作費金融合作社並に金融會助成費水災救濟費等を追加支出することになり、五日國務院會議室に於て各部次長會議を開き本年度追加豫算として歳出一二九四萬圓、歳入一、〇七八萬圓を決定、十日の國務院會議に正式上程することゝなつたが、追加豫算中歳出の部の主なるものは

產業部拓政關係一二〇萬圓三江省治安工作關係八六萬圓、金融合作社並に金融會助成關係七一萬五千圓、協和會關係二六萬圓、營繕需品局關係一九六萬圓、宮內府關係三〇萬圓、民生部教育司關係三七萬一千圓、建國大學關係二四萬四千圓、水災救濟關係七五萬圓、松花江水沒地救濟關係一五萬圓

尙歳入關係の主なものは更生減額一八五萬圓である

支那事變第四回論功行賞
七、八日頃發表

【東京國通】支那事變第四回論功行賞は靖國神社臨時大祭を控へた來る七、八日頃內閣賞勳局より發表される運びとなつたが、この度は戰線の華と散つた將兵陸軍側五千百餘名、海軍側七十四名の豫定で賞勳局では引續き合祀祭までに第五回行賞を發表する豫定なほ滿洲事變第三次第四回論功行賞も本月中旬發表の筈

青少年義勇隊に寮母を配屬

【東京國通】雄々しく新大陸開發の鍬を揮ふ滿蒙開拓青少年隊員約一萬五千名に母代りとなつて青少年達を世話し慰める婦人を送るべく海外婦人協會では子供を育てた經驗、または看護の知識ある相當年輩のやさしい婦人を募つてゐたがこの程大陸の母として一生を送り度いといふ固い決意の希望者十數名を得たので拓務省の協力を得てこれら婦人に一定期間の講習を與へ一行は義勇隊寮母の名稱で來月下旬頃東京を出發現地各訓練所に配屬される事になつた、同會副會長竹內茂代博士は語る

北滿の曠野に黄ばんだ夕日が沈む時疼き出す鄕愁はわれ／＼大人にとつてもかなり深刻なものです、青春期の義勇隊のホームシツクや感傷は想像に餘りあるものと思ひます、たゞ訓練だけでは丁度弓の弦が張り切つてばかりゐるとすぐ切れるやうなもので義勇隊員のやうな紀律正しい生活の一方にはどうしても女性の手でしかなされない潤ひが必要です、大陸開拓の重大使命を持つ義勇隊員を立派に育てるのはわれ／＼女性の一つの義務です

旅行團往來

京都市教育會視察團第二班十名は六日午後一時三十分來京滿蒙ホテルへ投宿、七日午前八時十分發奉天へ▲京城師範生徒第三班七十名は六日午後三時十分來京旭ホテルへ投宿、七日午後七時十分發吉林へ

偶語

本年度協和會全聯協議會は劃期的成果を收めて終幕した▼豫定より三日の會期延長を見ても如何に眞劍であつたかゞ窺はれる就中滿洲國人の小麥粉價格統制に關し政府に對する質問の如き▼小麥粉が滿洲國人の生活上不可缺の品であるといふだけでなく實際問題を眞劍に考へてゐる證據でもある▼又少年の結婚乃至蓄妾の取締斷行要望の如き文化思想の發達向上を如實に物語れるものと見ることが出來る▼此思想上の過渡期にある若き滿洲を如何に育て上げるも一にかゝつて政府の施政方針にあることを爲政者は充分に心すべきである▼大同大街の綠地帶を平氣で橫切る橫着者は殆んど日本內地人だと番人がこぼす　このまた日本內地人が殆んど附近の會社銀行勤めの知識階級者であると番人は苦笑する▼當の本人は滿洲人の番人が何だといふ氣持か知らないが滿洲人の番人から見れば何だ苦力より見下げた奴と侮蔑してゐるのをご存じないらしい▼指導的立場にあるわれ／＼はかういふ一寸したことにも及ぼす結果の意外に大きなことのあるを考へねばならぬ

社説
滿洲農業國策の方向

先般開催された東亞農林協議會の協議の成果には、滿洲から見ても大いに注目すべきものがあつた。同協議會に於いて各地代表者間に意見の一致を見たもののうち、滿洲に關聯したものをあげると次のやうな諸事項があつた。米については、滿洲に於いては産業五ヶ年計畫に基いて增産をはかるが、糧穀會社の設立に依り管理制度を完備し、日本内地に對しては輸出しない、小麥については滿洲は内地麥輸入を圖り輸入を容易にする、繭絲については滿洲に於いては家蠶の飼育を行はず、柞蠶の增殖五ヶ年計畫の實行に依り相當量の增産を圖り國内消費、輸出及び新規利用に振向ける、棉花については日滿支を通じて生産計畫の調整は農林省を中心とし、滿洲國に於ては既定の改良增産五ヶ年計畫をそのまゝ繼續する、亞麻に關しては日滿支ブロツク内に於いて自給自足を圖り滿洲の亞麻作は將來内地の亞麻作を壓迫せず、供給過剩の場合は第三國に輸出する、油脂原料にあつては外貨獲得のため大豆、蓖麻子、落花生、蘇子の大增産を行ふ、また滿洲に於いては無水アルコール原料作物たる馬鈴薯の增産を行ふ、林業に在つては滿洲に於ては大增伐を圖ると同時に、内地に於いても本年度木材需要增加に應じ民有林の施業を奬勵し自給自足を圖る、滿洲の木材資源開發に要する人的資源及び機材は内地より供給する、家畜については滿洲の緬羊增殖を圖り、北滿に於いては白系露人に對し乳牛の增殖を奬勵する、馬政については既定國策遂行を圖り外地、滿洲其他にも技術者の斡旋供給を行ふ、飼料については滿洲では玉蜀黍及び高粱の作付面積を增加し内地の需要を充足するなほ農事關係人的資源の相互融通を圖る等であつた。

以上を通觀すると、滿洲と内地との連絡圓滑を圖りその間に摩擦を生ぜしめないやうにと大いに考慮が拂はれてゐるのが知られるのである。これはブロツク經濟の推進といふ點より見てまさに當然の所ではあらう、だがわれわれとしてこゝに注意せねばならぬのは、このために滿洲の農民の生活が脅されたり損害を受けたりすることのないやう努めねばならぬといふことである。もとより時局が課する任務のうち、國民が各々その職業にしたがつて分擔すべき責任があることは言ふまでもない。ただこれはあくまでも國民が充分なる理解を持ち納得するところがあつて行はれなくてはならぬ。全體から見て舊習に慣れ新しい轉換に立ち向ふ時躊躇し勝ちな農民の場合には、農業上の改良改革、方向轉換を推し進めんとする場合には當局者としてまさに愼重周到な配慮と用意とを以て進まねばならぬであらう。

人形山肉彈突擊の悲壯實況觀戰記
陣中に聞く團扇太鼓の音

【〇〇五日發國通】四日〇〇部隊は旬日に亘つて頑强なる抵抗を續けてゐる新店前面の人形山の頑敵に對し悲壯にも肉彈をもつて最後の突擊を敢行したが、此日記者は谷一つ隔てた西側高地の支那家屋の土塀に穿たれた銃眼から終始その實況を觀戰し、雄々しくも悲壯なる皇軍勇士の血戰の姿に熱涙の止まるを知らなかつた

□

四日午前九時半西側一帶の高地に陣取つてゐた皇軍砲兵部隊は砲口を揃へて一齊に掩護砲擊の火蓋を切つた、的確なわが砲擊が一彈々々山頂から東に向つて走る稜線に構築された敵陣に小氣味よく命中し着彈する度に赤黑い土煙を吹き上げ爆音は全山に谺して凄愴を極める、今曉まであれ程われに十字砲火を浴びせてゐた敵陣も寂として聲なく掩護砲擊一時間半、それまで西側の稜線にピツタリと伏せて待機してゐた勇士達がムクムクと動きはじめ赤く禿げた稜線を歩一歩匍匐前進をはじめた

□

この息詰まるやうな靜寂を破つて突然ポコンポコン不思議な音が谷を渡つて耳朶を打つた、小銃の音でもなく手榴彈の炸音でもない、不思議な音はまだ續いてゐる、記者は傍らの〇〇部隊附の中澤少尉に怪訝な顔を向けると「今日の攻擊部隊長〇〇中佐が打つてゐる日蓮宗の團扇太鼓の音だ」と敎へてくれた、〇〇中佐は大の日蓮信者で陣中もこの團扇太鼓を携行し常に法華經を念じてゐると云ふが、今日の突擊の武運長久を祈願しながら太鼓を打つてゐるのだつた

□

カンカンと云ふ機銃の響きがはじまつた、ヒタヒタと迫り行くわが勇士を目がけて狂ひ出した敵陣からの射擊だ、豆を煎るやうな輕調な敵のチエコ機銃の音を壓して友軍の重調な機銃の應酬がはじまつた刻一刻彼我の應酬は激しさを加へやがて身も動ぜんばかりの射擊戰となり敵の手榴彈はブスブスと記者の居る支那家屋の土塀に命中する、友軍の勇士はこの敵十字砲火の下を潛つて進み、進んではヂリヂリと稜線を這ひ登つて午後二時約二百米を征服し山頂の敵陣を距る百米ばかりの頭角に辿りついた

□

見れば人の字形になつた左側稜線およびその中央松林からも友軍が迫つてゐる、右翼仲田中尉、中央渡邊大尉、左翼加藤大尉の勇士だ、左翼加藤大尉の勇士が銃身に結び附けてゐる日章旗が旭光に映えて痛いほどで目を射る、敵の主陣地まで「もう一息だ、頑張れ」支那家屋の中から戰況を見守つてゐる人々は手に汗を握りながら聲を限りに聲援を送つてゐる、敵陣との距離が九十米、八十米と迫り六十米に肉薄したと思つた瞬間、敵陣地から一齊に手榴彈を投じはじめダンダンと勇士達の身近に隙間もなく手榴彈が白煙をあげて炸裂する、手榴彈の礫の下を潛つて突進した勇士の一人が傷つき倒れる姿がハツキリ目に映る

□

おゝ何と云ふ大膽さだ、一人の兵士は輕機を頭部に擬したまゝ敵陣に向つてゐる、投彈すべく伸び上る敵兵を薙ぎ倒さんとする肚らしい、思はず目をつぶつたが白煙が消えた跡に依然たる勇士を發見した時人々は期せずして奇蹟のこの勇士のために萬歲を連呼した、此時手榴彈戰はいよ〳〵激烈を加へ敵陣からは追擊砲さへ射ちはじめた、この時まで戰況を觀望してゐた友軍砲兵陣地は小癪なとばかり猛然たる砲擊を開始し山頂の決戰はいよ〳〵最高潮に達したが記者のゐる支那家屋は敵砲擊の集中射擊の目標となるので後退せよと命ぜられ山を下つた、記者の瞳にはいつまでも崇高な皇軍勇士の姿が灼けついて熱涙が止まらなかつた

九江のコレラ
敵の謀略と判明

【上海四日發國通】中支軍四日發表＝七月廿六日わが軍の九江入城以來軍内に若干のコレラ患者發生し殊に城内支那避難民中に多數の患者を出したるもわが軍の絶大の努力と卓越せる防疫陣とにより大なる流行を見ることなく凡そ二旬にして終熄するに至れり九江に發生せるコレラの原因に就てはその發生狀況より推し當初より次の謀略なる疑ひありしをもつて極力調査し左記諸般の理由により敵の細菌學的謀略と認定せり

一、兵、難民等に就て調査するにわが軍入城前九江にはコレラ發生を認めず

二、初患者の發生は難民側は九月廿六、七日、わが軍に於ては一兩日遲れて廿七、八日にして、その罹患原因は何れも避難途中又は入城當時炎暑による渇により城内の生水を生飮す

三、發生狀は爆發性にして一時に諸方面に發生し難民收容五ヶ所、市外よりの避難者を收容せる三ヶ所に同時に發生し雷擊性の經過を辿つて死亡し發生狀況は自然流行と趣きを異にす

四、市内に散在せる外國權益内の井戸水を使用せる部隊にはコレラ患者を出さず

五、退却に際し市街を灰燼に歸するは支那軍の最近における常套手段なるに拘らず九江市街は殆ど兵火の跡を認めず、故意にわが軍の使用に託したる觀あり、また市街の高所等見易き個所に「井」の標識を附しあり、細菌學的工作と因果あらざるやを思はしむ

我軍はその後も敵の細菌學的謀略の物的證據をあばくべく努力中なりしに九月十三日に至り左の如き有力なる證據を發見したり、即ち九月十三日九江東門附近の井戸を急造の錨をもつて井内物件の引揚げを開始したるに水甕一、石油罐その他金屬容器等廿四個を引揚げたり、以上のうち日本軍にて最近使用せられたりと認められるもの凡そ三分の一その他三分の二は敵軍又は附近住民の所持品なりしこと一見明瞭なり、そのうち敵軍の使用せる二個の容器中に泥土と混在しありたる硝子片三個を發見せり、このうち二個の硝子片はアンプーレなること確實にして他の一個も赤アンプーレの破片を認めらる、該アンプーレは無色透明の硝子にして凡そ十ccを容れ得べきものにして且つ該アンプーレは日本製アンプーレと全然異るものにして敵の使用品なること疑ふ餘地なきものなり敵地野井の中に偶然アンプーレの存在せる理由なく敵は九江退却に當り謀略的工作に使用せるものと斷定し得べく且つ該井水によりコレラ患者發生したる事實により本物件はコレラ細菌收納用アンプーレと斷定せらる、右の事實により九江のコレラ發生は支那軍の細菌工作なること疑ふ餘地なく、その非人道的暴擧は結果において多數の自國民に損害を與ふるに至りたるものなり

敗戰を豫想した敵
飛行場破壞退却

【〇〇五日發國通】羅山前線における敵機の小癪なる挑戰に激怒したわが陸の荒鷲〇〇部隊は四日午前、午後にわたり敵後方戰線に全面的制空權を誇示しつゝ各地の偵察を行つた結果、敵は既に敗戰を豫想して孝感、宋埠の兩飛行場を破壞してをり、また黄陂飛行場では敵機を認められなかつたが、最近使用した形跡が歷然としてゐる、敵機はわが荒鷲の猛襲を恐れて轉々として飛行基地を渡り歩いてゐることが判明した

藤岡部隊
栗樹尖の敵を一掃

【排市四日發國通】排市附近殘敵掃蕩中の藤岡部隊は四日正午富水南方の栗樹尖に據る頑敵を一掃、これを確保し對岸の敵陣地を睥睨し意氣愈々旺盛である

大連の油房業者等
惡條件頻發で悲鳴

大連油房は九月上旬より一部操業を開始し現在では一日操業軒數四十五軒、生産豆粕一萬四、五千枚程度であるが南滿に次いで北滿の新豆も出廻らうとするにいたり油房操業も最盛期を間近に控へ戰時下の平和産業として關東州では首位を占むる油房の前途に多大の注目が拂はれる折柄左の四問題が惹起し油房業者を困惑させてゐる、即ち

一、油房の湯草問題　大連油房では年産凡そ七百萬圓見當の湯草を消費し主に香港、上海、海州、青島、芝罘、營口等中南北支及び滿洲内から供給を受けてをり中でも中南支物が品質優れ價格は高いが山東産に比し採産上有利である、然るに中南支物は勿論山東地方も治安回復不充分のため湯草の輸入は困難である、滿洲産は數量が多くないので中南支から買付けるより外ないと見られるが爲替管理による爲替取組許可が容易に得られず油房聯合會では關東州廳に對しこれが緩和方を陳情した

二、用水問題　大連水源地貯水量減少激しく大連市民は斷水の聲に脅かされてゐるが工業用水も一般用水と共に給水制限の厄にある、油房も赤悲鳴を擧げてゐる一つである、大連油房の昨年度冬季一月の用水量は三十六軒、三萬八千五百五十六屯一軒平均一千七十一屯に當り昨年度の一ヶ月用水使用量は四萬六千五百九十二屯、一軒平均一千二百九十二屯であるが今回水道當局より油房に割當てた分量は凡そ三分一に滿たぬ一萬屯余一軒當り二百五屯十に過ぎず油房は努めて井戸を利用すべく方針に出づべく努力するは勿論乍らも到底現狀には油房用水を賄ひ得ない事は明かであつて若し用水問題の解決が遲延すれば滿洲特産界にとり尠からぬ惡影響を及しはせぬかと憂慮される

三、馬車賃値上問題　大連埠頭における苦力不足から港内荷操作業を馬車により行ふ事多きの已むなきにいたらしめた爲め荷物の運搬に從事する荷馬車は拂底したので荷馬車組合はこれを理由に現在より四、五割方の增賃銀支拂方要望、業者に要求し油房業者と荷馬車組合との間に折衝中であるがこの値上要求は他に馬車のゴム輪化による同業者の負擔加重も理由の一であるから兩者の談合が遂げられるであらうが果して何れに落付くか注目される

四、用炭問題　これは未だ差迫つた問題ではないが貨車不足により石炭の出廻りも鈍るとみるが至當であるから油聯では對策の一として油房に相當豊富に貯炭して配炭難に備へやうく考究中であつて不幸にして配炭が不足する等の事ともなれば油房の死命を制するは必定なりとして油房業者は早くも戰々兢々たる有樣である

體育運動の新指導精神
厚生省が全國に呼掛け

【東京國通】厚生省では戰時下における國民體位向上に關し積極、消極兩方面にわたつて各般の方策樹立に萬全を期してゐるが、その重要一部門である體育運動の新工作についても考究を進めてをり、これが第一着手として十月四日國民體育振興會主催のもとに日比谷公會堂に開催される國民體位向上大講演會を機會に戰時下におけるわが國體育運動の指導精神を一般社會に闡明することゝなつた、その骨子は

一、從來の個人的體育運動より國家的體育運動への大轉換

一、體育運動の一般的普及發達

一、身心鍛錬に並行する國民精神の作興

の三點で、政府が全國民に呼掛けることはこれをもつて嚆矢とし體育運動問題に對する一歩前進として大いに注目されるものがある

スロバキア地方の自治要求を提案

【ベルリン四日發通】チエコ政府はズデーテン問題解決の後をうけて新チエコ共和國再建のため近く内閣を改造補强して國内の統一に邁進せんとしてゐるが、ズデーテン問題による犧牲がチエコ國民に與へた打擊は頗る深刻を極めチエコ更生の方向とはまさに反對に國内的分裂の兆が早くも現はれ始めた模樣である、即ち四日D・N・B通信社が各地から得た情報として傳へるところによれば、過般スロバキア人を代表してシロヴイ内閣に入閣したスロバキヤ人民黨のチエルナツク無任所相は三日ベネシユ大統領に對し廿四時間期限の最後通牒を送りスロバキア人民黨の要求が容れられない場合は直ちに辭職する旨强硬なる意思表示を行つたといはれる、右通牒はスロバキア地方の自治を要求したものといはれ、その内容つぎの通り

一、スロバキア人の獨立性を承認すること

一、スロバキア地方における國語はスロバキア語のみとすること

一、スロバキア地方にスロバキア人による立法機關を創設する、これに相呼應し財政、軍事を除く全權を附與すること

一、スロバキア地方における行政權を直ちにスロバキア人代表に移讓すること

ソ聯遭難機發見

【モスクワ四日發國通】去る廿五日シベリアバイカル湖附近において、突如消息を絶つたグリゾドバ議員、オシペンコ大尉、ラスコーア中尉の三ソヴイエト女流鳥人操縱の極東向無着陸飛行機祖國號は三日午後ソヴイエト政府派遣の捜索隊必死の活躍によつて遂に發見された、右につきソローキン第二赤色飛行師團長は四日朝ソヴイエト空軍に宛て左の如き報告を寄せた

祖國號はアムキン河から五粁の地點デニムキーの北東十四粁の地點で發見された乘組員に對しては直ちにコーヒー・靴下、靴、着物および遭難地記入の地圖を投下した目下救助隊をパラシユートで投下せしめる準備中である

移民狀況視察に農民文學懇話會員派遣

【東京國通】四日午後六時から丸ノ内常盤に開かれた農民文學座談會の席上、滿洲移民情況視察團派遣が有馬農相の肝煎りで近く實行に移されることになつた、派遣される視察團の顔觸れは島木健作和田傳、打木村治、田研一、鍵山博史氏等の同夜結成された農民文學懇話會々員たることに内定を見た、非常時農業政策の一基調たる滿洲移民政策は躍進日本の最大の農業問題として農林省がその奬勵普及に馬力をかけてゐるところであり、移民の實質的な理解を與へるには農民文學に如くはないと洞察したのが有馬文學農相だ、土の文學に多大の抱負を持つ農相の音頭取りで誕生を見た農民文學懇話會は事務所を四谷區青山北町の鍵山方に置き、機關雜誌「地上」を發行する外農民文學賞を設置して大いに農民文學の振興を圖ることゝなつた

米穀推算　需給不安なし

【東京國通】四日の農林省發表による九月二十日現在における本年産米穀豫想收穫高は六千四百七十五萬八千七十石で、平年作の增收を豫想されるに至つたが、この數字を基礎として昭和十四年米穀年度における需給推算を行へば明年度端境期における次年度持越高は七百卅餘萬石となり、今後たとひ天候が不順に推移しても需給關係には何等の不安なきことが確實となつた

支那事變貯蓄債券五圓券賣出し

【東京國通】支那事變貯蓄債券の大衆普及版五圓券が五日を期して全國勸銀本支店、郵便局の窓から一齊に賣出された、何しろ當れば一等五百圓となり愛國と貯蓄の二鳥なので、この朝各銀行、信託、郵便局の窓口では銃後國民の熱誠が渦巻き帝都の中心中央郵便局ではこの朝八時開局と同時にサラリーマン等がどつと押寄せたつた四十分間に割當の一千四百枚が賣切れてしまひ後から後からやつて來る購入者を斷るのに掛員も汗だくの有樣だつた

出征軍人に捧げる
感謝標語決定

【東京國通】愛國婦人會本部で募集中だつた戰歿將士出征軍人に捧げる三種類の感謝標語は應募數四萬を超え左記標語がそれ〴〵一等に當選した

一、忠魂靖かれ吾等あり

一、傷兵護つて國强し

一、兵隊さんは生命懸け姿達はたすきがけ

なほ同會では銃後後援週間中出征傷痍軍人留守家族慰問のため種々の催物を行ふことになつた

外相は當分首相の兼攝

【東京國通】專任外相の銓衡は四相會議の議を經て重光、齋藤、有田氏等の候補を擧げ三日以來内交渉を行つてゐたが、何れも難色あり至急の決定は困難となつたので尙當分の間首相兼攝をもつて進む事に決定、四日夜その旨板垣陸相、米内海相、池田藏相に電話をもつて諒解を求めた、なほ今後の外相銓衡方針に關しては近衛首相、風見翰長の間において協議することゝなつた

宮内府内務處長更迭

滿洲國政府では商宮内府内務處長の滿洲赤十字社副理事長就任に伴ふ後任補充を五日左の如く發表した

任宮内府内務處長（簡任二等）　宮内府秘書官兼宮内府理事官文書科長　羅福葆

依願免本官（九月卅日付各通）　宮内府内務處長　商衍[illegible]

黄海經濟聯盟創立總會

【大阪國通】大阪、神戸、京城、大連、天津、青島六商工會議所會頭が發起人となりかねて設立計畫中の黄海經濟聯盟は諸般の準備が整つたのでいよ〳〵來る十一月十四日甲子園ホテルに創立總會を開催の上役員選擧並に定款を附議決定、今後黄海を中心とする三國間の貿易促進に乘出すことゝなつた

エヂプト棉花收穫豫想

【カイロ三日發國通】エジプト農務省では三日一九三八、三九年度のエジプト棉花第一回收穫豫想を七百六十九萬一千カンターと發表した、右は前年度の實收高に比し三百十二萬四千六百カンターの激減に當り一九三四、三五年度以來の最少記錄である

商況欄　五日後場

●大連株式（短期）　寄付　大引

五品、東新、滿業、同新、鐘紡、滿鐵、大新、土木、豆、

●奉天株式（短期）

湯取、東新、大滿、同新、五日、滿品、同鐵、鐘紡、電新、同甲、日乙、新響、化鄉

[illegible]

新京取引市況

先物　寄引　出來高

●大豆　十月限、十一月限、十二月限

●高粱　九月限、十月限、十一月限

[illegible]

手形交換（五日）

[illegible]

讀者の領分

投書歡迎　中傷不可

若き建築家諸君よ

幼き子供の上にも、人生最後の情熱に元氣な老人の白髮にも、可弱き女性の纖手にも、絶えざる飢と過勞に困苦の淵に喘ぐ兵隊の步調にも澎湃として湧き上つた新日本主義の雄々しくも力强き姿の正射影を見る。而るにこの新しい社會の情勢轉移に眞の注視を移す事なき徒らに過去の亡靈を夢見或は堂宇の阿彌陀如來に合掌して後生を願ふ老人持味に消極的な弱々しさを感ぜられる時代錯誤を敢て犯してゐる或一群を見る即ち社會から建築家に誤り看做されてゐる一群である。今日は既に昨日と言ふ日ではない、少く共一日の差は若き建築家諸君、今日がギリシヤ、ローマの時代に非ざる事を知つて居るか諸君の建築眼識は過去のイデアの容器に近代經濟政治機構による表現を容れやうとする樣な非時代的矛盾あつてはならない、過去の遺產を汲々として守り續けやうと焦り廻る消極的な蹇子根性が時勢の流れに沿つて新生活を求めやうと努力しない非發展性の性質が近代生活に憧れながら猶且陰氣な過去の空氣を捨て切れずにゐる姿が今日のグロテスクな官衙樣式であり銀行建築である。實用性を誤解して藝術品として取扱はうしたことが斯くの如き所產となつた事は今更言ふまでもなく、建築家諸君の充分認識してゐる所であらう。今日既に新日本や滿洲の姿が築き上げられつゝある時建築家のみが力强く立上つた首途から取り殘されてゐてよいのであらうか。建築家達よ新日本主義の大旆を飜して愛國行進曲に步調を合せて進軍する熱情と用意はあるか、君達が徒らに過去の幻想を追求し過去帳を繰りひろげ甘い懷古趣味に浸つて墓場に腐り果てた骨にも等しきギリシヤ、ローマの所產を模倣し高價にして而かも近代材料の持つ動力學的な要素のリアリテイを無視してごて〱しい葬儀自動車的な裝飾に盛られたオーダーを臆面なく羅列し、或は單に建築的に效果のみ促はれて、記念的表現を誇示せんと實用性の少き生活空間の機能組織に忘れた樣な塔屋の設計に頭を惱み或は單に日滿親善になると言ふ極く曖昧な抽象性に低迷してゐる時、日本の歷史は滿洲の現狀は加速度的に輪轉してゐる事に氣がつかないか、君達建築家は言ふだらう「それは御えら方の希望だ」と何と眞の建築家の名譽と地位を冒瀆する余りにも淺間しき言葉だらう君等が御えら方の無智な惡趣味を是正しようとさへせず易々諾々自己の地位保全の爲め節操を忘れて踊つてゐたのは過去に於ては勝手であつたかも知れない、併し全ての分野に押し進められつゝある新日本主義の前には斷乎として許されるべきでない、君達が事變以來も過去の誤つた建築樣式を眞の正しい建築樣式に引戾そうと努力せず拱手傍觀してゐたが故に大きな物資統制の波に押し流され少からざる犧牲を建築界に負はせ、暗澹たる將來を覗かせるの愚をなしては居ないか、君達は其責任を感じてゐるだらうか、一日も早く君達の不用意さと早老性を捨て再出發すべきである、そして君達が局外者からオーダを取り上げられ、塔屋を封ぜられ混血兒的な屋根の構成を笑はれる前に一日も早く君達の手で新樣式の構成をなし堂々社會に所信を披瀝せよ新日本主義に依つて產れるべき新樣式は君達と若き建築家の新樣式創造運動の前に横たはつてゐるぞ、老いぼれたそして目先の事にのみ沒頭する建築家はもう時代と步を共にすべきものでない、立て！若き建築家諸君よ！（孤獨生）

冬季嚴寒控へて　ストーブ飢饉來
價格暴騰入手は困難

昨年十二月以來銑鐵の使用制限及び本年七月以降の鋼鐵品製造制限に依り滿洲におけるストーブ類の輸入ならびに製造は多大の支障を生じ從つて在庫薄より必然的に價格の昂騰は勿論、入手困難を豫想されて需要期を控へ相當憂慮される狀態にあり、各方面から應急對策を要望されてゐる、在奉各業者につき在庫數、輸入狀況、販賣價格等調査の結果は左の如し

一、昨年度輸入並に製造數
一、昨年度販賣數　三六、三三〇個
一、在庫數　三〇、一二六個
イ、輸入品　六一六個
ロ、日本製造品　三六八個
ハ、滿人製造品　四七〇個
一、本年度輸入並に製造見込數
イ、輸入品　二、四六〇個
ロ、日人製造品　三、一一〇個
ハ、滿人製造品　八、九四九個
計　一四、五一九個

で又販賣價格においても
一、輸入品　約三割强高
一、日人製造品　約四割弱高
一、滿人製造品　約五割强高
の暴騰ぶりを示してゐる

鐵道運營確立
驛勢調査會設立

鐵道總局では產業五ケ年計畫の進展に伴ひ增產される各種貨物の輸送對策ならびに運賃對策確立のため近く新たに强力な產業調査機關として國線驛勢調査委員會を設立するに決定した、同委員會は委員長に佐藤理事副委員長に諸富營業局長その他委員に產業、貨物、文書各課長および各鐵道局產業、營業兩課長が就任、現地側には鐵道局を中心に第一、第二兩分科委員會を組織し第一分科委員會は營業課長を委員長とし驛阜頭ならびに背後地交通關係、第二分科委員會は產業課長を委員長に鐵道背後地の一般產業、經濟にわたり特に產業計畫により膨脹する鑛工業生產品ならびに特產物出廻狀況を目標に中央現地相協力して積極的調査活動に乘出さんとするもので、差當り昭和十二年度末現在により調査に着手、調査完了次第これを基礎として現行輸送運賃對策を再檢討し新情勢に應ずる社業の基礎確立に資する方針である、同委員會は二ケ年計畫で調査を續行、昭和十三年度末現在の調査をもつて一旦活動をうち切ることになつてゐるが、同業務が社業の根本に關する重要役割をなす關係上更に引續き調査に當るべき恒久的調査機關を總局內に常設するものとみられてゐる

スケート記錄　氷上聯盟承認

【東京國通】國際氷上聯盟ではスイスのダヴオスにおける一九三八年度世界スピードスケーティング選手權大會で樹立された五〇〇米（四一秒八）エングネスタンゲン（ノールウエー）、一〇、〇〇〇米（一七分一四秒四）バラングルート（ノールウエー）の兩世界新記錄を今夏の理事會で正式に承認、この程大日本スケート競技聯盟に報告して來た

出征店子家賃
全免した奇特の人

【東京國通】事變勃發以來每月百圓宛の獻金をなし、また多數の貸家の店子から出た三十餘名の應召者家族の家賃を全免したといふ奇特な人がある、牛込區揚場町淸酒商桝本喜兵衞氏できまつて每月二日陸軍省を訪れ百圓を獻金し既に回を重ねること十五回、又事變以來次々に應召する店子の多いのをその名譽と感激しての家族に家賃を全免してゐたもので近所の人々の話題に上り感激の的となつてゐる

婦人ホーム荒鷲の家
荒鷲母の會で設置
遺族の職業、內職を斡旋

【東京國通】今春一月結成された「荒鷲母の會」は俄然全國の遺族に强い感動を與へ銃後の固き守りを誓ふ全國會員は千餘名に達するに至つたが同會では來る十七日から行はれる靖國神社臨時大祭に合祀される空の勇士の遺族を新に迎へるに當り遺族の親睦と生活扶助を目的とする「婦人ホーム荒鷲の家」を設置することに決定した、同會が結成されて以來全國會員からの感激の手紙が山積すると共にその手紙に金子を封じて寄託して來る人も尠くなく百餘名の人々からの寄託金が既に千圓以上にも達したので之を基金にお互ひに慰める場とすると同時に遺族の職業紹介、內職斡旋や又吾子を第二の荒鷲に育てあげるための荒鷲託兒所といつた家を設立することゝなつたもので、靖國神社大祭迄に市內に適當な家屋を物色し荒鷲の家の看板を掲げることゝなつた

爲替管理法に基づく
輸出入報告書の注意（三）
關東局經濟部發表

（3）一部有爲替輸出報告書
（イ）貨物の記號、番號、品名、箇數及數量　（2）の（イ）に同じ
（ロ）貨物の價額　（2）の（ロ）に同じ
（ハ）積載船名　（2）の（ハ）に同じ
（ニ）仕向地　（2）の（ニ）に同じ
（ホ）荷受人　（2）の（ホ）に同じ
（ヘ）送り狀金額　（2）の（ヘ）に同じ
（ト）爲替取組金額、爲替取組年月日爲替の種類及期限
（A）貨物輸出前爲替を取組み本報告書に爲替取組先銀行の證明を受けたる上輸出手續と同時に提出したる者は輸出申告後二週間內に右輸出貨物に付更に爲替を取組むことなき場合に於ては第二回目の事後報告書たる本報告書の提出を要せず
（B）輸出申告後爲替を取組みたる場合は更に二週間以內に爲替取組先銀行の證印を受け第一回報告書提出經由機關を經て提出すること
第一回報告書に於ては各々豫定金額、豫定時期、豫定銀行を明瞭に記載すること
（C）爲替の種類は荷付D－A、荷付D－P又は「クリーン」の別を明記し必ず仕向爲替の支拂地を附記すること
（チ）爲替を取組まざる部分の代金額（契約通貨に依る）並に其の受領方法及豫定時期
當欄に簡明且具體的に記載し更に報告書の裏面に（2）の（チ）に準じ記載すること
（リ）價額の一部に付爲替を取組まざる理由　（2）の（ト）に同じ
（ヌ）第二回目の事後報告書の記載は第一回報告分と同一なるべきも輸出貨物數量の變更爲替取組金額等の變更ありたる場合は參考欄に其の理由を簡明に記載すること
この場合に於ては「報告書訂正願は」するに及ばざること
（ル）第一回目の本報告書提出後二週間以內に爲替を取組まざる場合は第二回目の事後報告書として（2）の報告書を提出し參考欄に其の理由を簡明に記載すること
この場合に於ては「報告書訂正願」は提出するに及ばざること
（ヲ）爲替の償還又は買戾を爲したる場合は（ヌ）に準じ右欄外に其の旨赤書し提出すること

（4）全部有爲替輸出報告書
（イ）貨物の記號、番號、品名及數量　（2）の（イ）に同じ
（ロ）貨物の價額　（2）の（ロ）に同じ
（ハ）積載船名　（2）の（ハ）に同じ
（ニ）仕向地　（2）の（ニ）に同じ
（ホ）送り狀金額　（2）の（ヘ）に同じ
（ヘ）爲替取組金額、爲替の種類及期限　（3）の（ト）に同じ
（ト）第二回目の事後報告書に付ては（3）の（ヌ）に準ず
（チ）爲替の償還又は全部買戾を爲したる場合は（2）の報告書を（3）の（ヲ）に準じ提出すること
（リ）爲替の一部買戾を爲したる場合は（3）の報告書を（3）の（ヲ）に準じ提出すること

（5）代金充當又は回收報告書
（イ）輸出年月日　輸出月日順に記載すること
（ロ）輸出申告番號　明瞭に記載すること但し郵便差出貨物の場合は差出局名、鐵道便貨物の場合は荷送驛名（鐵道代辨の場合は其の旨及代理人氏名又は商號）を記載すれば足る

海倫附近の討匪

治安狀況の良好なること全滿隨一を誇る龍江省內の海倫、通化縣の匪賊跳梁に對しては、日滿軍警において數次に亘り肅淸工作を實施しつゝあつたが、最近では匪勢次第に衰へ强力なる匪團はその影をひそめ、たゞ逃場を失つた小匪團の出沒が傳へられてゐた折柄去る九月廿八日省機附近に出動中の劉討伐隊〇〇名は海倫西方三十粁通屋河左岸地區に於て匪首海飛の率ゐる約四十名と遭遇、警察隊と協力してこれを包圍敵匪に潰滅的打擊を加へこれを西南方に潰走せしめた、本戰鬪に於て敵の遺棄死體七、負傷五、鹵獲小銃彈二百五十、人質奪還三、わが方に死傷なし

熱河省討匪狀況

第五軍管區司令部發表＝熱河省境における國軍の共匪討伐狀況左の如し
一、去る卅日午前六時頃大覺鐘附近において國軍宇海濤少校の指揮する部隊は日本軍〇〇部隊および國軍王冠部隊と協力灤平東南部山岳地帶より侵入の共匪約七百を攻擊激戰數刻にして同八時半これを西半方に潰走せしめた、敵遺棄死體三十、わが方損害なし
一、國軍閻、湯兩部隊は一日早朝熱河西南國境線外劉斌堡附近において約三百の共匪と遭遇これを擊破、次いで同日夕刻關頭附近に集結中の約三百の敵を發見、交戰數時間にしてこれを潰走せしめた

日本學術振興會滿洲委員會規定

一、本委員會は滿洲委員會と稱す
二、本委員會は事務所を新京に置く
三、本委員會は滿洲（關東州を含む、以下同じ）內における學術ならびにその應用の振興發達を圖るを以て目的とす
四、前項の目的を達するため左の事務を行ふ
イ、日滿兩國の各種研究機關ならびに產業團體との連絡協力の斡旋
ロ、在滿學術研究者の援助申請の整理仲介
ハ、學術振興事業の宣傳及び普及
ニ、寄附金の取扱ひ
五、本委員會の編成を左の通りとす
委員長一名（在滿者）、委員十四名（在滿者を主とし一部在日者を加ふ）、囑託若干名、書記若干名
六、委員長及び委員は理事長の推薦により理事會の審議を經て會長之を委囑す、囑託の委囑及び書記の任命は委員長之を專行す
七、委員長及び委員の任期は三ケ年とし何れも重任を妨げず、但し初期委員に限り半數は任期を一年半とす
八、委員及び囑託の擔當は委員長之を定む
九、書記は上司の指揮を承け事務に從事す
十、委員會は委員長之を招集す
十一、委員會は滿洲國又は關東州內において每年春秋二回開催するを例とす、その他は委員長の必要と認むるところによる
十二、經費の取扱については學術部委員會の規定に準ずるものとす

北支の飼料
高木常務調査談

日本飼料配給會社常務高木喜三郎氏は四日午後天津より來連したが語る
日滿を通ずる飼料統制は日本內地ではすでに實施され飼料會社がその實務に當つてゐるが、滿洲國からの飼料原料の供給はこの端境期においては順調を缺き南洋產玉蜀黍も爲替管理に妨げられて輸入量極めて僅少に止まり、ために日本においては原料不足を來し製造工場は操業に支障を來してゐる狀態になつてゐるので、かゝる狀態打開と今後の對策樹立の必要から中北支方面の視察をなし、滿洲以外の中北支から飼料原料を日本に供給するだけの餘力があるかどうかを調べたわけだが、現在ではあまり大きな期待はかけられない、それでも滿洲からの不足を補ふ程度の供給力はあるものと思ふがはつきりした言明はまだ報告の中途だから差控へたい
なほ同氏は七日出帆のうすりい丸で內地に向ふ筈

ツクツクツクツ　ラ孃男性と確定

【ベルリン三日發國通】ドイツ女子陸上競技會が誇る走高跳世界記錄保持者ラトーエン孃はこの程醫學檢査の結果男性と確定した旨三日ドイツ協會から發表されセンセーションを捲き起してゐる、女子選手の男子轉向は今回が實に三度目のことで最初世界陸上競技界を驚倒させたのはチエコの至寶選手とまで言はれた八百米の世界第一人者コウコバ孃でコバチとまで名前を改めたが手術の結果同孃は完全な男子にはなりきれずして終つた、これについで一昨年英國陸上競技會で砲丸投をはじめとし槍投、圓盤投、投擲と何でもござれの活躍をしたマリーエディス・ルイスウエストン孃が男性轉向を聲明これは立派にミスター・マーク・ウエストンに成りすましてしまつた、今回のラトーエン孃は一九三七年にクレフエルト競技場で一米六十五の世界タイ記錄を出しアメリカのシエリー、ディドリクレン兩孃の記錄とゝもに本年三月のパリ國際競技總會で世界記錄として公認され自他共に世界女子走高跳界の第一人者となつたが、更に去る九月十八日ウヰーンにおける競技會では一米七〇といふ驚異的記錄を樹立してゐる、然しドイツ體育協會では男性決定と同時に同孃の記錄は抹殺した旨合せて發表したから同孃の世界記錄は勿論ドイツ記錄も消失してしまつた譯である

家庭

不愉快の表情は若さを殺します
早速やめませう

悪例六つ

女性の眞の美しさを紅や白粉にたよつてゐた時代はもう過ぎやうとしてゐます。非常時の女性美こそは明朗な健康美でなくてはなりません。その意味からあなたのお顔から暗い表情、悲しい表情、怒りつぽい表情、皮肉な笑ひ等々そんなイヤな表情はすべて取除いて下さい。美しいお顔も醜く見えるだけでなく知らず〳〵の間に若さの最大の敵であるしわを作るもとゝなつてしまひます。誰でもウッカリして知らない間にしてゐるイヤな表情を御覧下さい。これが悲しむべきしわ發生の種々相です。是非清算したいものです。

【一】本を讀んで知識を廣めるのも結構ですが、そんなに眉を寄せて讀んではいけません。つひには本を讀まない時にでも眉を寄せる習慣がついてしまひますよ。

【二】針仕事をした時よく齒で糸を切る人があります。齒を悪くする上に口の格好も悪くなりますから必ずはさみを用ひること。

【三】手紙を書きながら字を忘れたからつてそんなに額にしわをよせて考へるなんて…まるで四十歳近い人の額のやうぢやありませんか。

【四】もの思ひにふけるのも時には結構ですが、こんなにひぢをついては駄目、目尻にそわができます。

【五】どんなに口惜しいからといつて、そんな凄まじい顔はしないで下さい。唇は荒れるし、口元が悪くなります。

【六】若いやさしい女性の皮肉たつぷりな苦笑ほど不愉快なものはありません。口のまはりにイヤな笑ひじわが固定

知つて居ながら 大失敗をする
□陽に干した布團□

秋晴れの續く此頃は、夜具蒲團を忘れずに陽に干せう。

日光消毒をすると共に、押しつぶされてゐる綿をふくらませて、寝心地よくしませう。ところが、快晴の強い日光に當た夜具蒲團は、取りこんでそのまゝ疊んでしまつてその夜の寝床をとりますと、折角の主婦の心づくしも大失敗になります。

といふのは、蒲團の綿の中に吸ひ込んだ溫かみが出てきて、夜が更ると共に熱くなり寝てゐる人を蒸すやうに刺戟するので、健康な人でも寝られず苦しむことがあり、殊に病人などの場合ですと、夜中にその爲に熱を出したり、容態を悪化させたりすることになります。ですから、陽に干した夜具蒲團は日蔭に入れてから十分に擴げて風を通し、三、四時間もさまして、綿の中に深く吸ひ込んだ日光の熱をよく發散させるべきです。部屋の中に擴げておいたのでは場所をとり邪魔になるといふのでつい部屋の隅に積み上げたきりにすると、十分に暖かみがとれません。

初秋の着付
半襟を少な目に 帶が上すぎないやう
コツは＝キッチリ、ユルク

時局の影響か、今秋の着物の傾向は地が濃くて模様が判然して見るからに緊張味をもつたものが出て參りました。かうした模様は近頃の若い娘さん方には本當によく似合ふものです。そしてその生地はぺら〳〵した見るさへ**輕薄**な感じのものが影をひそめ、銘仙、お召、つむぎなども堅實な地風のものが出て參りました。之は大變よい傾向です。

かうしたものゝ着方として先づ半襟を少な目に出し、きりりと着ます。裾の方も決して長くだら〳〵としないでかるやかに着ます。尚裾は兩褄上りにすると腰がしまつて見えて、浮世繪風の美しい姿になります。

次に帶ですが、之に名古屋帶、若くは旅行用などにはつけ帶風のもので而も七寸五分か八寸幅位のを小ぢんまり**締め**たのがよろしいでせう。また近頃の人は胴も長くなつて來たのですから、乳の上などへ締めないやうに——さうすると下腹が出すぎないで、コルセット代りとなつて結構だと思ひます。帶の上手なしめ方のコツは下腹の方をきゆつと、胃から乳下には力を入れずに、下を強く上はゆるやかにしめることです。このコツでやればお美味しいお料理に手をつけずに歸るやうなこともありません。それからしよい揚げは胃の中央でしめると**壓迫**して苦しいから胃を外してしめ度いものです。又、帶止めは打紐の方が、寶石つきなどよりも時局柄よろしいのです。經濟的に負擔の重い寶石より打紐の方がより自由に御自分の趣味を生かせることにもなるのです。

尚着物の地の柔かいのは、御自分の丈に丁度よく合はせておいてよいのですが、地の固いボツテリした風のものは丁度よい丈にきると後で**短く**なりますから、稍々長目に着付た方がよろしいでせう。

最後に紐類のしめ方ですが腰紐は平なものをよらずにしめることです。又この結び目はお腹の中央よりも、右横、若くは左横にしめた方がうまく結べます。然し之もあまりきつくしめるのは何よりの禁物で、紐をしめてから十本の指が間に入る位の餘裕がほしいものです。

するやうになつてから慌てゝも手遲れです。

初秋閑談
矢立の變遷
矢立取出し……源平盛衰記
箙の中より

何が故に矢立といふかといふと、昔陣中に於て即ち矢立の中に硯を入れて携へた。これを「矢立の硯」と云つたので、源平盛衰記にも或は「箙の中より矢立の硯取出し」とか「鎧の引合より矢立取出し」などあるがこれである。それから別に變遷して懐中に筆墨を入れたるものを矢立といふ様になつたと貞丈雜記に見えてゐる。これが即ち今の矢立の初まりである。矢立は陣中矢立、文人矢立、商人矢立、大名矢立、武士矢立などの別があり、その質に至りても銀、四分一、銅、木製あり、金無垢、七寶、象眼入、浮彫などがあつて、之に漆器製のものがあり、世の贅澤につれ太平になるに從ひ、其形と質を異にし、之が美術工藝品の一種にもなり、又喧嘩の武器にもなつたものである。

× ×

さて武士用矢立と町人用矢立とはその形が異つてゐる。即ち武士用は腰にさして蓋を右に開き、町人用は左に開くのである。即ち武士は左の腰に二本をさすのでその内側に矢立をさすから、蓋を左に開いては刀が邪魔になるため右に開く、町人は左に開く方が挿した儘で都合がよいからである。總じて町人用は武士用よりは派手好みであつて、これはさきに申した通り武士の印籠に對抗してゐたゝめである。即ち四分一に銀象眼を施したものでは京都の龍文堂、龍雲堂のものが優秀であり、又姫路藩主の酒井雅樂頭並に弟の酒井抱一の好みで造らせた矢立は銅無垢で、下緒を移動式の環に取付けたものであるが、これを「姫路矢立」又は製造元の名をとつて「衣笠矢立」とも云ふ。又鐵製では越後燕町の特産を優等としてゐる。大名が輿の中の棚に備へ付けた大形矢立は長さ一尺五寸から二尺もあり、多くは銀製で浮彫があり、墨壺が直徑二寸五分位である。洵に見事なものである。

× ×

之は長崎出島の和蘭陀領事館附醫師ドウンボルグの江戸下向記を見て初めて此用途がわかつたのである。而して此矢立が遂には煙管筒の中に仕込まれたので出來る様になつて煙管と矢立と其發達を共通にする様になつたのである。此外良家の女子、將軍、大名の姫君方は「箱せこ」に入れる小形の金銀製の矢立や蓋が向ふや手前に開くものや、筆入れと墨壺とが別々になつたものや、蓋に磁石をはめたものや、筆入れの外部は「尺」になつて目盛りをしてあるものや、千種萬別であるが、將軍から大名に下されたものには、中々結構づくめのものが少なくないが、今は殆ど見當らない

凡ゆる病氣に効く 日光中の紫外線
皮膚病—貧血—外傷等

秋空の下で

秋は紫外線が最も多い時です。健康人も病人も大いに日光浴して紫外線を體内に吸收しませう。生物の根元は太陽です。室内醫療より遥かに効果的な紫外線で病氣を癒しませう。

紫外線療法は最近の醫界で最も重要視してゐるものゝ一つです。日光を病氣の治療に用ひた例は既に太古からあつたといふ記録が殘つてゐます。醫師のヒポクラテスや更に下つてセルサスなどもその實行者でした。最近になつてはフインゼンその他の學者が日光の性狀を研究してそれがどんな影響を及ぼすかを明かにしたゞに日光を療法に應用するばかりでなく、進んでフインゼンランプ、人工太陽燈、水銀石英燈などゝ稱する紫外線を多量に放射する機械を創造して病氣の療法に用ひるやうになりました。ご承知の通り太陽の光線を三稜ガラスに通して分析して見ると赤、橙、黄、緑、青、藍、紫の七色に分れ、なほ目に見えない線が赤の外に一つ、紫の外に一つあつて後者が紫外線とよばれるものです。日光を保健または療法に應用するのは即ちこの紫外線を應用したいためです。さて紫外線の人體に及ぼす作用を大略申述べれば

【一】新陳代謝が旺盛になる
【二】血液中の赤血球、ヘモグロビンが増加する
【三】殺菌作用がある
【四】皮下にビタミンDと同性質のものを形成し榮養を高める
【五】局所的には充血を起して治療作用を營む

などが主なる點です。以上で日光があらゆる疾病の療法や健康の増進に應用してよいことがおわかりでせそのう。うちでもどんな病氣の人に一番效力があるか、次にその病名を擧げて見ませう。

△内科方面▽
肺尖カタル、肋膜炎、腹膜炎、氣管支炎、肺浸潤、ぜん息、貧血、糖尿病、動脈硬化症、神經系の諸病、心臓、胃腸、諸疾病の回復期

△外科方面▽
創の治療、リウマチス、僂病、關節の疾病一切、丹毒その他

△皮膚科方面▽
白癬、批糠疹、濕疹 その他寄生虫の皮膚病、婦人科疾患耳鼻眼科、齒科等々
應用範圍は極めて廣いのです

健康相談
運動と處女膜に就て

(問) 私は結婚期にある十八才の處女、高等女學校卒業生で御座ゐます。在學中は種々の運動を好んでやりました。激烈な運動により處女膜の破損と云ふことはありませんか、又、處女膜のない處女は如何なる方法を試みたら分るでせうか、甚だ御恐れ入りますが御教へ下さい。(秦皇島 雲碧清問)

(答) 女子で出來る様な運動をしたからと云つて處女膜が破れる事は決して有り得ません。又女子にして處女膜のない女子はありません。(回答者 新京特別市中央通保健所産婦人科部長 醫學博士 成松清品)

連載漫畫 笠屋のやんチャン　西ひさし

北京料理
本日開店!
平和軒
リッパニデキマシタネ
ヤアコレデアンシンサ
コリヤオトノサマオシノビニテオイデニナッテゴザル
サスガハカサヤノヤン吉リッパナミセニナッタナ
ヘヘー
ナガイアヒダヨクハタライテ東洋平和ノタメニヨクツクシタ
ハア!
完

けふの番組
MTOY 新京放送局　六日 木曜日

ラヂオ

朝
七、〇〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)
七、二〇ニュース(錄音)
七、二五中等滿洲語講座(大連)　秩父固太郎
七、五〇朝の音樂(大連)
ラザール・レヴィー　ミリツア・コルユス　ビクター管絃樂團
一、ピアノ獨奏　繪畫的小曲　シャブリエ作曲
二、ソプラノ獨奏　(イ)太陽の讃歌(金雞より)　(ロ)印度の歌(サドコより)
三、管絃樂　(イ)圓舞曲　昇る太陽　(ロ)行進曲　樂しきスケーター
八、二〇氣象通報
八、五〇建國體操
九、〇五經濟市況(東京)
九、三〇經濟市況(東京)
一〇、〇〇家庭講座(大連)　多に備へる家庭衛生陣　遠藤繁清
一〇、二五料理獻立(大連)
一〇、三五家庭メモ(大連)

東京無線

晝
一〇、四〇經濟市況(大連・新京)
一一、三五經濟市況(大連)
一一、四〇經濟市況(東京)
一一、五九時報(東京)
〇、〇一晝の演藝　アコーディオン獨奏　熊田爲之
一、ドナウ河の漣　イワノヴィッチ作曲
二、夢のタンゴ
三、双頭の鷲の下に　ワグナー作曲
四、心と花
五、巴里祭
六、私の青空　ドナルドソン作曲
七、愛國行進曲　瀬戸口藤吉作曲
〇、三〇ニュース(東京・新京)
一、〇〇經濟市況(大連・新京)
三、〇〇經濟市況(大連・新京)
三、五〇經濟市況(東京)
四、〇〇ニュース(東京)
氣象通報・ニュース(新京)
四・四〇經濟市況(大連・新京)
五、二〇ニュース(鮮語)演藝(鮮語)

夜
六、〇〇子供の時間(奉天)　童話劇　歌を忘れたカナリヤ　酒井美津子作　友達會
六、二〇コドモの新聞(東京)
六、二五趣味講演(哈爾濱)　ロシヤ雜話　村岡花子　清水威久
七、〇〇ニュース(東京)ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七、三〇ラヂオ唱歌　獨唱 松原正巳　同 肥後敦子　指導 細田透
ピアノ獨奏と
一、玲瓏　藤田虎雄作詞　細田透作曲
二、伸びる樂士は　本間一咲作詞　藤島八百吉作曲
七、四〇講演(東京)
八、〇〇ピアノ獨奏(東京)　レオニード・クロイツアー　リスト作品集
一、練習曲　變ニ長調
二、メフイスト圓舞曲
三、愛の夢　變イ長調
四、ハンガリア狂詩曲第十五番
八、三〇ラヂオ時局讀本(東京)
八、四〇郷土演藝　銃後後援の卷(下)　(福岡)筑前加布里　加布羅囃子　(小倉)豐後淨瑠璃
九、〇〇渡邊の綱　捕物帖三題　宮野哲州(第一夜)(東京)　謎の八卦見(右門捕物帖より)　佐々木味津三原作　渥美清太郎脚色　尾上鯉三郎
九、三九時報・ニュース・ニュース解説・(東京)
一〇、三〇ニュース再放送　氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
一〇、四〇北滿の時間(哈爾濱)

富士(十一月號)

◇新秋讀書季節に入つて非常時局下の國民は一層修養の意義の重大さを痛感する、富士十一月號にもそれが反映せぬわけはなく讀物には夫々時局柄の特色が盛込まれてゐる ◇銃後女性の健氣な意氣を表す廣津和郎氏の長篇讀切もの「戀の十字火」に續いて「飯塚部隊長」の一篇に著者望月紫峰氏が得意の麗筆を揮つてゐるのは壯觀だ。◇新讀物には「揚子江の危機」北村小松「妙々鬼の盃」大倉桃郎「臆病な男」甲賀三郎「土俵の報恩」鈴木彦次郎「野路の萩餅」桃川若燕「天高く肥馬の戀」弘木丘太「梟首三百一級」長田秀雄「一萬石の槍」大島伯鶴—等がある ◇映畫物語三篇(「軍國子守歌」「永遠の感激」「十字砲火」)の外に陸軍少將坂西平八氏の「軍馬に泣く」寶妻壽作氏の「湊口脫出記」なども興味深いが連載陣が例によつて充實文士連のものも缺けてゐない所を見ると富士編輯の當事者は相當苦勞したことであらう。

講談倶樂部(十一月號)

◇新秋、讀書季節に入つて講談倶樂部十月號は恰かも讀書子の要望にピッタリの豪華内容を具えて生れ出た。◇まづ長田幹彦の「砂金の指環」だが、時局雰圍氣で巧みにアレンヂして人生の一斷面に密着させる手腕に於て殆んどこの人の右に出るものはあるまいと思はせる讀切篇中の異彩として推奨したい。◇これと對立してゐるのは我妻大陸氏の「アジア大旋風の前夜」だ。上海に於る諜報機關の活躍と國際關係のデリケートなところを摑んで一篇の小說化してゐるが、これには軍の機密保全、國際的スパイの形態に就て教へられるところも多い大讀物である。◇其他戰線實話として「噓!飯塚部隊長」があり、坂東義助丈の「戰線土産話」があり新讀の異色篇に「拔かずの多門」目黒麥男「尺八巡査」吉井勇「櫻田異變の日」新堀睦人「監獄部屋命懸け脫走記」松鹿太郎等がある。

キング(十一月號)

◇毎號特別挾込附錄に、變つた工夫を凝らしてゐるキングは十一月號には佐藤一齋の言志錄をつけて又讀者の喝采を博してゐる、この修養書は廣く人口に膾炙したもので新秋讀書の好季節にこれを座右に具えることはまことに意義深きを覺える。◇横山美智子女史が久しぶりに連載もの「美しき青春」を寄せた、女流作家らしい細かい描寫に魅力ある筆致を見せてゐる。◇中間ものでは前東京控訴院長皆川治廣氏の「人物修養の着眼點」田中館愛橘博士の「戰爭今昔ばなし」それに時局柄注目を惹くのは外務省事務官仲内憲治氏の「最近のソ聯視察記」だらう、毎號に出てゐる「現代名士五分間傳記」も捨て難い味がある。◇讀切小說傑作選に六篇特別讀物として「英傑コント傑作集」に三篇を收めてゐる、「國策小唄」といふのが飛出して「慰問ぶし」外七篇を發表してゐるが、これがキングに顏を出すとまもなく流行ものとなるであらう。

……戲曲……

國境地區（七）

─八景─

原作 長谷川濬
脚色 藤川研一

第六景 越境者

音樂

朗讀 ソ聯の暴虐に耐へ兼ねた人々は、樂土滿洲を目指して、幸福を求めて越境する。ソ聯人がそうであり、故鄕滿洲を捨てた誤まれる滿洲人がそうである。嵐の夜からうした越境者は決死的に斷行する。不幸、半に斃れる者も多いが、時偶成功し歸る者もある。─單調な生活ではあるが、人々は今はもう慣れ切つてゐた。

昨夜の嵐は名殘なく去つて、すがすがしい朝が訪れた。

舞台明るくなれば。床に臥してゐる昨夜の越境者。窓からは朝の陽ざしがまぶしい。炊事場では朝餉の仕度をしてゐる陳。窓を通りかゝつつ楊、フト越境者曹相如を見て入り來る。

楊 おはよう。
陳 ン。
楊 誰だい。お客かい。
陳 ゆうべの嵐に越境して來た男よ。
楊 そうかい。（と一寸廣間を覗いてみ）……時に、陳さん。ゆうべ芬花が來なかつたかい。
陳 ン、ウーン。
楊 そうか、俺の氣の迷ひだつたかな。
陳 ン。
楊 外に出る。土手に上りロシアの兵隊がヤケにうろうろしてるぜ、騎馬兵迄出動してらあ。
いつて、下手へ去る。
陳 どうだね、具合は？
曹 （足を打たれてゐるので不自由相に起き上り座り）有難う、とてもいゝです。足の傷も大したことはない様です。
陳、朝餉を持ち來つて曹に與へる。
陳 そりやよかつた、まあゆつくり休むがいゝや。お前さん。いくつだね。
曹 二十七です。
陳 クニは？
曹 黒河ですが、兩親も何もありません
陳 どうして又、ロシアへ行つたね
曹 西口子で働いてるとき、ロシアの方がいゝと誘はれましたので。行つたのですが
陳 ん
曹 全く地獄です。食物は無し、人を牛馬同様にこき使ふんだ。ロシアには命令と强制があるだけです。生れ故鄕に歸つて來て、やつと安心しましたよ。
陳 よく歸つて來た。生れ故鄕ほどいゝものはないよ、な、二十七か、金山と同じ年だ。何だか顔迄似てゐる様な氣がする。
曹 金山つて？
陳 息子だ。年寄り一人殘して、家出して了つたんだ。越境者だから一應取調べはうけるだらうが。濟んだらユックリ家にゐてくれ。
曹 有難う、小父さん、何でもやります。體が元通りになるまで、少時御厄介になります。何でも働きますよ
楊を先頭に、警備隊員三名登場、楊は、表にとゞまる
警一 越境者は何處だ。（と曹をみとがめ）お前か、本部へ來い、取調べる。
陳 決して惡いことをした譯ぢやない。本當の事を話して、早く歸れよ。
曹 ン、有難う。
陳の與へる杖をつきて土間に降りる
陳 取調べが濟んだら、本當に歸つて來いよ。待つてゐるからな。
曹 キット。
連れられ、表へ出る。
屯長と芬花下手より登場、楊イソイソと挨拶するが、二人ともに素氣ない。曹相如去る。
陳、屯長にうやうやしく挨拶する。屯長芬花をうながして中に入る。何時になくニコヤカな顔。芬花を座せしめ。陳をかけさせる。不安に戰く楊

第七景 望子

音樂 溶暗

朗讀 終航船が別離の汽笛を長くひゞかせて靜かに下航し初めた。來るべき春の日迄、さらば河の人々よ。汽笛は國境の山々にこだまして、悲しく鳴り響いた。……やがて氷が張り、野山を凍りつける冬が、忍びこむのだ。荒涼たる天地が河の人々をしばりつける白い運命が目の前に迫つて來るのだ。そして夜の國となり、太陽は姿を消す、無氣味な狼の遠吠えがこだまし、意地惡いロシア兵の銃劍が光る

この朗讀の間、土手の標識の下にかゞみこむ、疲れ切つた様な陳のみを見せる。

汽笛を適宜にきかせる。

朗讀 越境者曹相如も病に鎖れて歸らず、老人の傷ついた心を一層えぐつた。併し屯長の溫い心は、芬花と金山の結婚を許した。やがて芬花は元氣な子供を生んだが、金山は歸つては來なかつた。芬花に慰められ幸福そうな、老人は、併し枯木の様に痩せ衰へていつた

部落の人々は老人を望子老爺と呼び、老人は石になつて金山を待つだらう、と噂し合つた。

この間子供を抱いたが芬花が下手より登場同じ様に下手奥を見てゐる─

バクゲキ手帳

若干の感想のみ

─葉山嘉樹「慰問文」（『文藝』十月號）─

戰地に在る友人に宛てて書き送つた手紙の形式で色々な時局感想を述べたものである。わづかに農村情景を述べた部分にいきいきとしたものが感ぜられるくらゐで、その外は平凡である。これではまだ小説に成りきつてゐるとは言へないであらう。

結局、自分一人だけの感想を述べたものに過ぎぬのだから、これを以て小説たらしめやうとしたのでは無理であると言はねばならぬ。平素持つてゐる小説家といふ肩書のために、これが小説として通用するほど、そんなに讀者はあまくはないのである。「神經衰弱になつた、神經衰弱になつた」と作者は書いてゐるが、全くどうもさうらしい。（御垣衛士）

新しき土に蒔かれる種

─北滿紀行1─

山口愼一

車窓から見る風景がすつかり違つて來た。もうただひろびろとした野つ原なのである。家もない。樹もない。ただ夏草が風に揺れてゐるだけである。その夏草の中には白や紫の小さな花が混つてゐる。遙か向ふにうつすらと白い煙が上つてゐる。枯草をでも燒いてゐるのであらう。北滿へ來たといふことをしみじみと感ずるのだつた。哈爾濱を發つたのが朝、やつと夕方になつて列車は北安に近づいてゐた。

北安近くになると、列車の軌道に近くずつと水溜りの續いてゐるのが見られた。何といふ鳥であらうか、一羽の鳥が其處に浮んでゐて時々首を水の中に突込んでゐた。

土の色が黒い。これは南滿と全く違ふ。その黒い土の廣大な面積が耕されることもなく打ち棄てられてゐる。

午後六時二十二分、私達は北安の驛に降り立つた。此處からは軍機保護法の施行地帶で驛を出る時、特殊地帶旅行許可證の嚴重な取調べがある。苦力たちも、滿人のお主婦さんもみなそれを持つて驛の出口に一列に並び、係官から許可證の裏面に判を押して貰ふ。ちよつと外國をでも旅行してゐるやうな氣になる。

八月の末なのだが、たいへん涼しい。新京などとはだいぶん違ふやうである。

驛の前は空地になつて居り暫らく歩いたところから家が續いてゐる。その途中に大きな市街圖を示したのがあり、初めての旅行者にも甚だ便利である。

馬車夫に教へられD─ホテルといふのに行つたのだが、其處は今は或る機關の宿舍になつてゐて、ホテルは少し向ふへ移つてゐるといふことだつた。若い男の人が私達をそのホテルへ案内してくれた。まだ引越したばかりらしく玄關に色んな家財道具が置いてある。

「お客さんですよ──」

若い男の人がさう言つたのだが、暫らく誰も出て來ないのんびりしたものである。

やつと奥の方の部屋へ案内された。床の間らしいものもある四疊半だが、壁は土で出來てゐて、その上を綺麗に紙で貼り廻してある。

窓の外は裏手だが、ホテルは目下其處に増築中なのである。大工たちが材木を挽いてゐる。肘付椅子に倚つてアッパッパの女性が監督してゐる様子である。あとで判つたことだがこのアッパッパの女性がホテルのお主婦であつた。彼女はそのやうに苦力たちを指揮しながら、其處で來訪者にも會ひお客への應待の指圖をしてゐるのであつた。これも北滿風景の一つであらう。彼女の後で一羽の鵞鳥が時々變な鳴聲をあげてゐた。

夕食の胡瓜もみにはフマキラーの臭ひがした。

風呂にはいると、ひどく濁つた水で、ぬらぬらとした。水はどうもいけないらしい。手拭は黄色くなつてしまつた

コスモスを截る

山田仙史

狂暴な 砂塵が 飛ぶ
ひろがつた暗綠色の雲
色盲患者の 慄へる掌の
コスモスの 花びら
截り取つた枝を
愛撫する女

─一三、九、一〇─

日日狂歌

无志幾

禿頭

この日頃とみに頭のさえわたりいよいよかやくかみ無しの月。

同

破れ障子かみのはげゆくさまみればはるこそよけれ秋は淋しき。

粥渣（五）

歐陽山作
川内堯譯

「あの人はほらを吹くのが好きでね、人をびつくりさせるんです──そして一生かかつたつてその言つた通りのことは出來はしないんです、本當に私を賣り飛ばすなんて、まさかそんな事！」

彼女はさう言ひながら同時に少し哀れさうな表情を示した。

「二た月前には、祝五はまだ氣狂ひみたいになつて喜んでゐたものですよ、或る日雨が降つて店の前に天幕を掛けてゐたんですが、どうしてか一人の兵隊の足にぶつつけたんですよ、こんな事何も珍しい事ぢやありません、ただ濟みませんと言へば濟む事です、──それなのに兩方で喧嘩を始めたんです。その時は兵隊は二人になつてゐました、だから喧嘩も片つ方が負けでした、そして巡捕が來ました、巡捕は祝五の話を聞くと祝五をつかまへて行つたんです、どういふ譯なのですが、もう粥店はやれなくなつたんです──それで友達なんかがこの事について何と言つたかと言ふと、連中は祝五の兄貴分の小廣東と同じ意見で、兵營の方に連れられて行かなかつたのがまだ幸ひだつたといふんです、こんなにして祝五はそれからでたらめをやるやうになつたんです。」

彼女の祝五に對する愛護、味方し振りは、時には彼女が彼の母親であるかの如くであつた。この時、役者達のしみつたれ振りに不滿で祝五は連中との打牌を止め、別の賭局に入つて行つた、大きな聲で「賭けては負けた事なし、柳の下に泥鰌だ！」と叫んで一層怒り出してゐた。

汽船は絶えず前進してゐた到る處浪の音がした──それは疑ひもなく物質と物質との衝突から起つてゐた。だか統艙の中は死のやうな靜寂だつた。賭博、阿片吸引、意識のない身動きと痙攣、實際に彼等は誰一人ゐない空船の死に瀕骸みたいになつてゐた、相互の間には少しの關心も無かつた。

役者の潘老九が突嗟に商賣を始めやうと思ひ立つた。彼は二人の助手、黄國才と李其を携へ人群の中に驅け込んで行つた、一方に小さな銅鑼を敲き乍ら大聲で叫んだ、そして彼等の「斑中鉄打丸」を宣傳した。

「……毒を散らし を取る、筋骨を柔かにする、打ち傷、刀傷を治す。」

「この野郎ども騒ぎ出しやがつて、年老りが眼を覺ますぜ、もう一度騒いでみろ、海ん中に抛り込んでしまふぞ…」

數人の阿片を吸つてゐた乘客が憎々しげに罵つた。その色んな様式の煙槍を振り廻した、そして役者達を追ひ拂つた。潘老九は蓆に坐り、兩手で頭を抱へまるで死んだ蚯蚓みたいになつてゐた。汽船のボーイ達が數人彼を取り圍んで彼に種々警告を發してゐる

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送付相成度し（係）

△北支畫刊（六輯） 戰ひの後に建設成り行く北支をカメラ・アイでとらへたもの、滿鐵北支事務局の編輯（東京日本橋區吳服橋三ノ五、平凡社、三十錢）

△正金週報（三十八號）「獨逸の軍事給付法」（二）「歐洲諸國の石炭產出額」等（横濱正金銀行調査課）

△精軍（二〇一號）「由根克的問題談到東亞戰局」その他（治安部調査課）

△在滿朝鮮人通信（十月號）（奉天彌生町四四、興亞協會辦事處、三十錢）

心得べき眼の養生法

繁雜にも明朗と優麗を雙ぶ近代人にとつて、眼の健康と美とは正にその生命線である。近代人よ、双の眸を勞りたまへ、そして正しい眼の養生法を知つて置かれることが肝要である。以下眼病の中でも一般に最も多い結膜炎と角膜炎に就いて述べて見よう。

結膜炎(はやり目、やに目、ち目、トラホーム、はれ目等)と角膜炎(かすみ目、なみだ目、ほし目、たゞれ目等)に就て

一、結膜炎 これは結膜(即ち眼瞼の裏及び白眼を覆うて居る薄い膜)に起る炎症であつて、本病に罹ると結膜が充血し眼脂が出る、眼瞼が腫れる、明るい光線に當れると羞明ゆくて眼が開けられない、又涙がよく流れ、チク〳〵眼が痛むことがある。俗にはやり目、やに目、はれ目、ち目等と呼ばれるのがこれであるがトラホームも結膜炎の一種である。

原因はコッホウイークス氏菌、重雙菌其他の黴菌、或は汗、直射日光、煙埃、塵水などによることが多い。

本病に罹つたならば、毎朝洗面の時きれいな冷水で眼をよく洗ひ、眼脂などの不潔なものを拭き取り毎日數回、本病に有效なロート目藥を點眼するとよい。

ロート目藥が無刺戟性(シマズ・イタマズ)の特性を併せ備へてゐることは、實に近代眼科藥の理想を實現したもので、點眼して眼の醒めた様な、ハツキリとした快感こそ、ロート目藥の誇るべき特色の一つである。

二、角膜炎 これは角膜、即ち眼球の黒い部分に起る炎症である。その症狀としては黒眼に小さい白い星が出來たり、又これが濁つたりする、或るものはひどく涙が出て眼瞼が痙攣し、又は非常に光線に對して羞明を感じ、又痛みを覺ることがある。俗にかすみ目、ほし目、なみだ目、たゞれ目など呼ばれるのがこれに屬する。

本病の家庭療法は、大體結膜炎の項で述べた通りを實行すればよいが、羞明感が特に甚しい時には眼帶をかける事が必要である。

結膜炎に對するロート目藥の効果

ロート目藥が結膜炎に對して特に著るしい治病効果のあるのは何によるかといへばそれは第一に、ロート目藥の强い殺菌作用によつて病原菌を殺し、消炎作用によつて結膜の炎症を消散せしめると共に收斂作用、鎮痛作用によつて直接に充血や腫れを引かせ、痛みを止める等の働きが綜合的に、且つ合理的に行はれるからである。

角膜炎に對するロート目藥の効果

ロート目藥の優れた消炎作用は、角膜の炎症に對して極めて有効に働き、强き收斂作用と相俟つて、眼の曇りや、ほしを去り、眼瞼の痙攣を鎮め、炎症の減退に從つて羞明感や流涙が少くなり、鎮痛作用によつて患部の疼痛け押へられ茲に著るしい効果を見るのである。

ロート目藥

Eye Water ROHTO

現代眼科藥の最高標準

ロート目藥は我邦眼科醫界の權威、井上獨逸醫學博士が國民眼科衛生の立場に於て多年研究の結果、治療上並に健眼上、最も有効適切なる處方を、藥學博士中尾万三先生指導の下に嚴製せるものにして我國醫學、藥學の粹を蒐めて現代眼科藥の最高標準を行くものであります。

家庭藥の使命―効力第一

手輕に用ひて眼病を早い目に治すといふことは家庭藥たる目藥の第一使命であります。ロート目藥は優れたる收斂作用、防腐、殺菌作用、消炎作用、鎮痛作用など、凡そ眼病の治療に必要な諸作用を完全に具備し、從つて何等他の藥液を以て眼を洗ふ手數を要せずして速かなる治病効果を有するものであります。

眼を刺戟せず(シマズ、イタマズ)

ロート目藥は近代眼科藥の理想を實現し點眼して眼に不快なる刺戟なく(シマズ、イタマズ)眞に「眼の醒めた様な快感」を覺えることは誇るべき特色の一つであつて、これは眼病治療上は勿論、又スポーツの前後或は讀書、記帳、裁縫などの細かい仕事に從事する時に用ひて最良の効果を收めます。

適應症

結膜炎、結膜充血、眼瞼緣炎、角膜炎、學校眼炎、トラホーム、疲勞眼、角膜翳、麥粒腫、涙嚢炎等

俗稱(のぼせ目、はやり目、たゞれ目、やに目、血目、かすみ目、ほし目、こり目、くもり目、雪目、めばし、つき目、はれ目、かわき目等)

藥價	
小瓶	20錢
大瓶	30錢
徳用	50錢
小兒用	20錢

本舗 山田安民藥房

獨特自慢の自製靴 タケヤ靴店 三笠町二ノ一 電3五二三六

秋の味覺 鍋もの 鯛すき
青柳の季節向吟味料理を召しませ
食道樂 青柳

甘黨の店 ダイヤ街 やよい屋 話3 6807

軍賜公債 高價買入
福民代賣 獎券
商品券の賣買も致します 精々御利用下さい
新京祝町三丁目(南廣場興銀横)
泰正號
電話③二六四四番

質 大口歡迎
柳屋質店
和洋服は特に勉强
お電話次第御相談に應じます
吉野町二丁目平本洋行裏小路入る 電③三一五二

森永ドライミルク

適量の糖分を加へ母乳と同成分にしてあるため、永く保存に耐へ消化吸收特に良し

平嶺 齒科醫院
新京中央通(新京神社前)
電3一三五四二

新京見物場
性の百貨店

佳話、日滿愛の明朗篇！

殘忍性を持つ變態の繼父母に生傷の絶える暇なく苛まれてゐた滿人孤兒が一日本人夫婦の大きな愛の手に拾はれて數年、その名も惠美子と改めて行儀作法から手藝、裁縫まで日本流の教育を受け日本女性といつても恥かしくないほど立派な娘に成長して近く花嫁御寮になるといふ、これこそ民族を超えた日滿愛の明朗篇――

薄倖の滿人孤兒が立派な花嫁御寮

田中善平氏夫妻に育まれて

日本名娘 "惠美子さん" 新生

話は今から三年前の康德二年七月に遡る、當時貰ひ子虐待事件として首都警察廳の取調べにかゝり世人の注視を惹いた事件がある、即ち當時中央銀行營業股長の要職にあつた范幕高とその妻范林氏が家庭生活の倦怠をまぎらすため、貰ひ子の拓榴(當時一二)を日夜苛んで奇怪な享樂を續けてゐたといふ事件がこれで、變態夫婦のいけにえに供された揚句五本の指先までつめられたといふこの時の薄倖の少女拓榴こそ現在立派な日本娘に甦生晴れの結婚の日を指折り數へて待つてゐる惠美子さん(一六)の姿なのである、惠美子さんの暗い運命を一轉させた愛の主といふのは新京東四馬路に東洋醫院を經營して附近の滿人から慈父の如く尊敬されてゐる田中善平氏と妻女コマツさんの二人だ、貰ひ子虐待事件が新聞で暴露された際この可哀そうな娘を愛の手で包んでやらうと相談、親も引取人もないところから首都警察廳に願つて貰ひ受け日本流の教育を授ける傍ら惠美ちやん惠美ちやんとわが子のやうに愛して來たものであるお蔭で惠美子さんは日本語も自由に話せるやうになつたしお行儀もお裁縫も全部滿點、滿人流に考へればもう何處へお嫁に行つてもいゝ年頃「虫のつかぬうちにかたづけやう」と今春來田中氏夫妻が惠美子さんのお聟さんを搜してゐるうち偶々市内新天地の資産家蘇茂源氏の一人息子振武君(二〇)と急速に話が纒つてこの九日に新京神社で日本式の華燭の典をあげることになつた、田中氏宅を訪れると惠美子さんの部屋は吳服屋から屆けられた式服やお祝品や結納品で一杯、結納品は金の腕輪と金の指輪で「二千圓はかゝつてゐます」とニコニコの田中さんが取り出してみせる

「日本語を敎へるのに一番苦心しました」とコマツ夫人、其處へ「いらつしやいませ」と三ツ指突いて惠美子さん、成程立派な日本娘である「實は花聟がいま遊びに來てゐます」と田中さんがいふので振武君にもカメラを向ける、振武君結婚の辯

日滿親善はまづお互ひにお互ひを理解することだと思ひます、惠美子さんは滿人ですが日本人の家庭に教育されて日本の女性同様ですから惠美子さんを通じて今まで判らなかつた日本人の美點を澤山知ることが出來るだらうと思つてゐます、二人で協力して新しい生活を築きあげます【寫眞は喜びを語る田中氏夫妻と惠美子さん　枠内は拓榴時代の惠美子さん】

滿洲にも自生松茸

滿洲に珍しい松茸の自生が京圖線明月溝東方約廿キロの地點延吉縣北の神仙洞附近に發見、吉鐵でも滿洲國内で松茸を發見したのは餘り例の無いことなので他に生育の適地はないかと試驗的にまづ奉吉線東陵に播種してみたが時季遲れのためか不成功に終つたが、明年こそ都會地の近く松茸の名所を作らんものと意氣込んでゐる

丸山和歌子一行 傷病兵慰問

六日と七日午後七時半から滿鐵西廣場社員倶樂部で本社後援の下に公演する丸山和歌子を中心とするコロンビアショウの一行は五日入京すると先づ第一に新京陸軍病院を訪れ、得意の歌踊や漫談で傷病兵を慰問した、本紙讀者優待割引券は夕刊演藝欄に刷込んであります【寫眞は陸軍病院慰問】

誘拐の疑ひ濃厚

玄關側に殘された寢卷、下駄

美貌の女中家出に依然怪事實？

夕刊既報、市内興安胡同居住滿洲中央銀行發行課勤務久保井安道氏(窪井供道は誤り)方女中住石ハマさん(杜石在は誤り)が四日午後十一時頃行方不明となつた事件は當初普通ありふれた家出として簡單に片附けられやうとしたが檢證の結果、謎の失踪として果然重大視せらるゝに至つた、失踪の裏面には何等かの秘密が藏されてゐるものゝ如く所轄順天署ではこれを嚴秘に附し八方手配鋭意捜査中であるが、目下判明せるところによると

ハマさんは東京市吉祥寺二二六に生れ、本年十九歲、美人の評判あつた美貌の持主である、若くて母となり内地には二歲の愛兒を殘して去月十二日奉天にある實姉の世話で久保井氏方に雇はれることゝなり前住所山形縣坂田市から來京したものであつた、家出の夜即ち五日午前二時頃の深夜久保井氏方に一人の來客があつた、家人が女中部屋に寢んでゐたハマさんを起しに行つたところ寢てゐる筈のハマさんの姿はなく寢床はもぬけの殼であつた、所持品もそのまゝ殘されてあつたので年頃の女のこと翌朝になれば歸宅するであらうと家人はあへて氣にも止めず朝を待つことになつたが翌朝に至るも歸つて來ず不安となつて捜査を願出た、時ならぬ失踪に不審を抱いた順天署司法係では直ちに檢證を行つたが、端しなくも失踪に疑惑を抱かせる奇怪な狀況が目撃された

ハマさんは　赤味をおびたタオル地の寢卷のまゝで家出、さらに玄關先から十間程距つた路上には平素着用の下駄と上張りが散亂遺失されてあつた、たゞならぬ前後の狀況よりして何者かに拉致、或は誘拐されたのではないかと見らるゝに至りこゝに捜査陣の活躍は開始された、調査と共にハマさんは過去美貌が仇となり素行上兎角の話題を殘してゐることも判明したが、來京後は日尚淺くして交際のあつた異性があつたとも思はれず誘拐とすれば何者の仕業か或は自己の意思による家出とするならば取り亂した現狀は何を物語るものであるか、將又生か死かこのところ幾多謎を殘した奇怪な失踪に足どり追及中の捜査陣はいたく惱されてゐるが、奉天にある實姉によつて一縷の光明をもたらされるのではないかと召喚することゝなり直ちに打電した尙本稿締切までは解決の何等の手懸りを得るに至つてない【寫眞は失踪した住石ハマさん】

勃海赤峰 兩文化の遺物 滿洲國へ歸る

貴重な考證を日本に殘して

勃海文化と赤峰文化の遺物が日本考古學界に有意義な考證を遺して近く母國滿洲へ歸ることになつた、前者は勃海文化の研究家である東大考古學教室の原田淑人博士が康德元年から二ヶ年間勃海國の首都上京龍泉府の在つた牡丹江省寧安で發掘した瓦、鐵器、金具、シビ、石獅子等で、同博士は發掘後これを東京に持ち歸り以來この遺物を基礎として勃海文化の様相を描出する考證を進めてゐたが、この程研究が一段落を告げいよいよ貴重な研究報告書「勃海」を世に問ふ運びに至つたので約束通り滿洲國政府に返納することになつた

また後者の赤峰文化は熱河省の赤峰が地理的にみて滿洲文化と漢文化の交流地點であつた關係上、獨特の文化を形成した古代文化原として注目されてゐるものであるが、康德三年中前京大總長故濱田耕作博士が同文化を考證すべく發掘を行ひ多數貴重な遺物を收穫して歸洛、その後濱田博士は不幸病を得て研究完成直前にして不歸の客となつたが、博士門下の教授達が遺志を繼いで攻究の結果、報告書「赤峰」刊行にまで漕ぎつけ斯界の絶讃を博するに至つたので、政府の今日までの好意に感激しつゝこれも前者同様返納することになつたものである

奉天國立博物館河瀨主事は三四年振りで歸る兩文化の遺物引取りのため近日中に渡日、歸國後は同博物館に永久保存することになつてゐる

小麥粉小賣の最高値段公定

新京五圓四十一錢

四日の協和會全國聯合協議會に於て小麥粉相場の暴騰につき論議されたが經濟部に於て調査の結果右は特殊上級品なること判明、同部では小麥粉小賣最高値段を公定五日次の如き當局談を發表した＝四日協和會全國聯合協議會においての小麥粉の販賣價格が暴騰したと云ふことについて論議されたが、右は調査の結果、哈爾濱に於ける各製粉工場の豫約した小麥粉特殊上等品の値段であつて現在一般に消費されてゐる小麥粉の値段ではなく且つ現在商人の手持品には何らの關係もないことが判明したので政府としては取敢へず一般普通品について値段を公定することゝし、仲秋節の準備に一般消費者が購入する小麥粉の價格を抑制することゝした、即ち各地方新規格普通の小麥最高値段は左の通りである

(一袋に付き)哈爾濱、牡丹江、齊々哈爾－五圓三〇錢、新京－五圓四十一錢、吉林－五圓五十一錢、四平街－五圓四十七錢、奉天－五圓六十錢、錦州五圓七十錢、安東－五圓七十二錢

なほ特殊上等品が一般の食料に當てられるとは豫期してゐないのでこの値段については當分公定しないことにしたが業者の協調により出來得る限り廉價とするやう慫慂する豫定である

國婦代表渡日

日滿國防婦人の親善のため滿洲國防婦人會の張國務總理夫人、星野總務長官夫人、入江宮内府次長夫人、德睦軍少將夫人の四代表は、五日出帆の黑龍丸で在通國婦會員多數の見送りをうけ日本に向つた

滿洲族の消長物語る

"旗人の家"の保存

識者間に要望昂る

新しい時代の波に壓されて荒廢の一途を辿つてゐる滿洲八旗時代の特殊建築物「旗人の家」保存の聲が最近考古學者や建築學者の間に起つてゐるが、如何にせんこの保存財源捻出方法がなく、唯一の解決方法として篤志家の出現が要望されてゐる「旗人の家」は滿洲族が清朝時代滿洲八旗を形成して民族的勢力を全滿に扶植してゐた際、各旗を司つてゐた有力者が北京の王府(王族の住んだ家)に模して建築したものであるが、清朝崩壞後、旗人の經濟的逼迫が清朝榮華の一端を物語る王府の雛型、この「旗人の家」を生活的に無用の長物視するに至り、その結果現在國内に原型を留めてゐるのは僅かに吉林市附近の十數軒にすぎないといふ有様であるため建築物の美術的價値といふよりも滿洲族の盛衰史を考證する存在として最近有識者間にこの保存問題が擡頭して來たもので、民生部の山田保存股長は語る

今日まで調査した結果を見ると吉林市烏拉街に遺つてゐる前淸烏拉總管門の正白旗人趙雲生氏の住宅が現在では最も完全な「旗人の家」のやうだ、外にも十數軒あるが、あとのものは大部分毀損してゐる、旗人の家の建築様式は美術的にみて全然價値がない譯ではないがそれよりも建築史的に價値があるといへやう、滿洲族の消長を物語る實例として永久保存の方法を講じたなら非常に有意義だとは思つてゐるが、何せこちらでも豫算がないので手を出しかねてゐる始末だ【寫眞は吉林市烏拉街に殘つてゐる前淸烏拉總管内正白旗人趙雲生氏所有の「旗人の家」】

國都の眞中に貨幣僞造團

不意打巢窟を衝く

曩に三宅牧場附近草原に死體として發見した普通學校一年生金君の死因は今なほ謎のまゝ殘した足どり追及中にあり次いで勃發した中銀久保井氏方女中の奇怪な失踪事件に必死となつて活躍中の順天署司法係が、國都の眞中に巢喰ふ貨幣僞造團を檢擧した、同署司法係ではかねて市内に五十錢貨幣を僞造しつゝある一味あることを聞き込み内偵中のところ圖らずも管轄内にその巢窟あるを苦心の末探知、刑事隊は五日早曉巢窟を襲つて折柄就寢中の首魁内地人某を難なく逮捕、室内に隱匿してゐた僞造五十錢貨幣その他證據物件多數を押收した、この僞造團一味連累者は各地に多數散在する全滿を股にかけた大僞造團と見られてゐるもので當局は事件を嚴秘に附し目下首魁について嚴重取調べつゝあるが、その全貌判明と共にセンセーションを卷き起すであらう

林歌子女史來京

基督教婦人矯風會々長林歌子女史は北京に日本基督教聯盟婦人慰問部で設備する醫療セツトルメントを開設に赴く途中五日午後五時二十分新京驛着あじあで來京愛國ホテルへ入つたが七十五歲の老齡とは見えない元氣で語る

今度は皇軍の輝かしい武勳を護る北支醫療宣撫工作に女性のみの一團が乘り出して醫療セツトルメントを北京に開設する準備をする爲に行く途中皇軍慰問の爲三年振りに來京しました、六日には講演も行ひますが、唯私達の愛の手で幾分なりとも日滿支親善の助けになれば幸ひと思ひまして今度の旅にのぼつた譯です

尙女史の講演會は六日午後二時より矯風會新京支部主催で西廣場滿鐵社員倶樂部で開催

商業、警察幹部講習生等首警見學

新京商業學校五年生百五十名及び中央警察學校幹部講習生十五名は五日午後首都警察廳を見學した

堀内安東省次長 八日朝赴任

國務院總務廳弘報處長から安東省次長に榮轉の堀内一雄氏は八日午前九時卅分發列車で赴任に決定、五日挨拶に來社

滿鐵支社 新弘報係

滿鐵新京支社弘報係から東京支社へ榮轉の内藤一男氏、同係の松岡功氏、同弘報係新任の松本信一氏は五日挨拶に來社

王監察官來社

内務局監督處長から總務廳監察官に榮轉の王允卿氏は五日挨拶に來社

●…●…●…●…●

待合おきな改築竣工開業　市内富士町三丁目の待合おきなではかねて改築のところ、すつかり竣工三日から開店してゐる

新京ヤマトホテルの悩みの種となつてゐた庭園樹林の烏群放逐策については爆竹を鳴らせばよからう、空砲をぶつ放せばよいとか▼いろいろ名案迷案が出ても何分場所が場所柄だけにうまく運ばなかつたが▼窮すれば通ずで考へついたのが電鈴による追つ拂ひ策といふやつ▼早速ホテルの非常用ベルを樹間に取りつけ實驗に及ぶとさすがの烏群も右往左往に四散して美事に成功▼今まで四苦八苦してゐた川原支配人そんなことはおくびにも出さず「この位のこと譯はないですよ」と濟してご座る、身體は小さいが心臟の強いこと烏以上だとはホテル常連の定評である

けふの天氣　北の風晴時々曇
きのふの氣溫　最高　一八度五　最低　九度一

公示催告

康德五年(買)第一〇一號
大阪市堺市南旅籠町東一丁目五番地
申立人　荒木ヌイ
左記證券の所持人は康德六年五月十日迄に當法院に權利を屆出て且證券提出すべく若し右期日迄に屆出を爲さざるときは直に證券無効の宣言を爲す
證券の表示(但し重要なる部分)
一、種類　日本產業株式會社(舊商號)株券拾株
一、額面　金五百圓
一、拂込額　金三百七拾五圓
一、株券番號　甲九八八一五號
一、當初の株主名義人　小森順一
一、發行年月日　昭和十年十一月一日
一、發行代表者名義　日本產業株式會社取締役社長　鮎川義介
一、最終の所有名義人　荒木ヌイ
康德五年九月二十八日
新京區法院
審判官　宇田川潤四郎

公示催告

康德五年(買)第一〇〇號
愛知縣葉栗郡木曾川町大字黑田東針口七拾七番地の壹
申立人　祖父江貞吉
左記證券の所持人は康德六年五月十日迄に當法院に權利を屆出て且證券提出すべく若し右期日迄に屆出を爲さざるときは直に證券無効の宣言を爲す
證券の表示(但し重要なる部分)
一、種類　日本產業株式會社(舊商號)株券拾株
一、額面　金五百圓
一、拂込額　金五百圓
一、株券番號　盈第壹〇〇八參貳號
一、當初の株主名義人　近藤哲三郎
一、發行年月日　昭和拾貳年七月拾五日
一、發行代表者名義　日本產業株式會社取締役社長　鮎川義介
一、最終の所有名義人　祖父江貞吉
康德五年九月二十八日
新京區法院
審判官　宇田川潤四郎

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）

中川雨之助　作
竹田一郎　畫

（百三十六）

傍若無人

そこで、川を越さうとして居ると、鐵の石に腰かけて煙草を呑んで居た旅の男が、香島を見て驚いた。

それは、府中の勝助といふ女衒で、彌勒町の大和屋へも始終出入をして居た關から、香島の顏に、ちやんと見覺えがあつた。

その香島が、大和屋から拔け出して、大和屋では目下血眼で捜し廻つて居るといふことをよく知つて居る勝助だから、

「こいつは、好い物に打突つた」と喜んだ。

ところがこの女衒の勝助。香島を數つて、すぐに大和屋へ連れ戻らうとするやうな、そんな、正直者では無かつた。

やがて川を越して、次の金谷の宿から、舞坂へ出るまでの途中で、どう騙したものか、たうとう香島を賣上げて掛川まで連れて來た。

そこの色街へ行つて、香島を金にしようと、ウロウロして居ると丁度其處へ來合したのが、明神官の能野鐵太夫。

これが大和屋へ香島を賣込んだ張本人だから是又た吃驚した。

鐵太夫は、もと浪人上りで、鍼術の一ト手も心得て居る八字髭の悪黨。

嚇し上げられて女衒の勝助、苦もなく玉を捲き上げられてしまつた。

そこで鐵太夫、香島をつれて見付の伊十の處へ飛込んで來た。

兩人は兄弟分の間柄だつた。

「叩き賣つて金にしよう」といふ相談の、兩人の間に煮え上つたことは言ふ迄もない。

そして、その捌け口を捜す間、伊十の家の物置に押籠めて置いた香島が、かうして又た紛失したのだつた。

が、云ふまでもなくそれは、市松が助け出したのである。

伊十は躍起となつて、子分を八方に出して、捜し廻つたが、容易に分らない。

騒ぎの裡に、その日は暮れてしまつた。

あくる朝は、茂兵衛と約束の期限なのだ。

伊十自から、三人の子分を引連れ、ドヤドヤと結屋へ乘込んで來た。

子分の一人が、入口の腰高障子をがらりと開ける。

懐手をして、反つくり返つて伊十が入つて來た。

香島のことのある所爲か、ふだんでも虫を噛み潰したやうな顏が、今朝は一倍歪んで居る。

「これは親分、おいでなさい」

店の間に茂兵衛一人。お霜は臺所の暖簾の蔭で棒立ちになつて居る。

「やい茂兵衛。親分おいでなさいぢやねえ。……金は出來たか、金は……」

「それが、その……？」

「ヤイヤイ、言譯なら聞かねえぞ。サア金が出來なきや、この屋台骨と、お霜を渡せ、約束なら仕様が無え」

伊十が眼で指圖をすると、子分の一人が心得て、衛と暖簾を潜つたかと思ふと、驚き慌てるお霜の手をグングン引張つて出て來た。

「お霜を連れて行つても、言分は無えだらう。家の方は、明日の朝までに片付けてしまふが宜い。その上で證文は返してやるからな」

傍若無人、そのまゝお霜を連れて行かうとする。

「ちよつくら待つて貰ひやせう」

突然、奧の方で聲がした。

「なにをツ！」

伊十も子分も、振回つた。黒い顏に、もう殺氣が漲つて居る。